【芝浦工業大学奨学金担当よりお知らせ】

間違いやすいポイントについて、補足しています。補足説明を確認しながら下書き用紙に記入してください。

※下書き用紙に表示している内容は2023年1月現在のものであり、実際の表示とは異なる場合があります※

2023年度

スカラネット入力下書き用紙

【貸与奨学金のみ申込み用】(大学・短期大学・専修学校専門課程)



貸与奨学金のみを申し込む際の「スカラネット入力下書き用紙」です。在学している学校が確認大学等 (給付奨学金対象校)であり、給付奨学金と貸与奨学金の両方を申し込む場合は、給付奨学金案内に挟み込 まれている「スカラネット入力下書き用紙【給付奨学金(貸与同時申込み)用】」を使用してください。

スカラネットURL https://www.sas.jasso.go.jp/ 受付時間 8:00~25:00 (最終締切日は8:00~24:00) ※受付時間を過ぎると画面が強制終了します。余裕をもって入力を開始してください。 入力所要時間の目安は30分~1時間です。



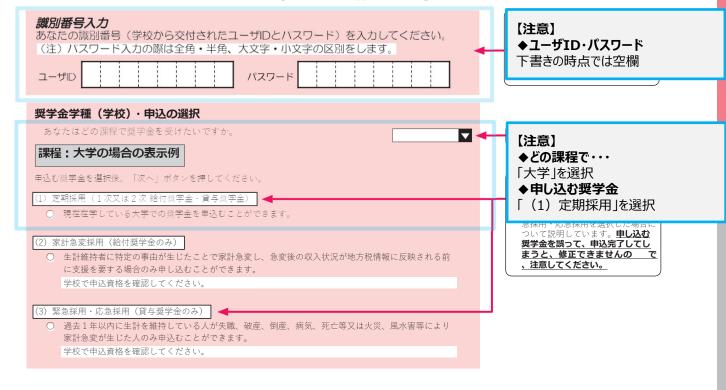
氏名	学籍番号	学部・学科・分野	+	【注意】 ◆学部・学科・分野 ○学部○学科 (所属する学部・学科を
	受付番号-		4	記入してください) ◆ 受付番号 下書きの時点では空欄
				で申込んだ場合は「3」になります。

【スカラネット入力の際に、手元に用意する書類】

- 学校から受け取った識別番号(ユーザIDとパスワード)
- マイナンバー提出書
- ・奨学金振込口座(本人名義)の通帳などのコピー(本冊子 15 ページに貼り付けてください。)

【スカラネット入力内容記入欄】

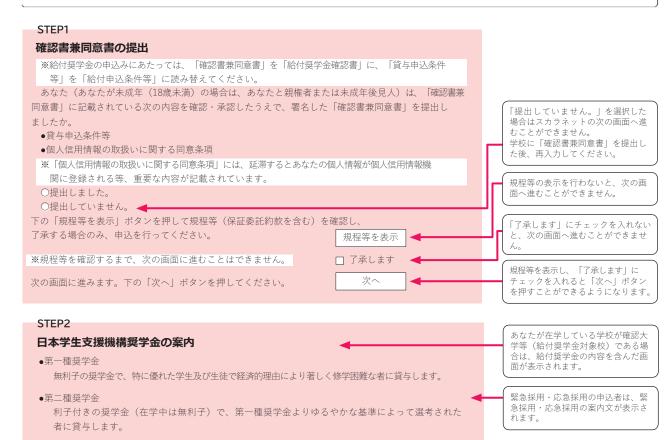
※インターネットで申し込む際は、「奨学金案内」40ページ「(3) 文字入力」を参照して文字を入力してください。



奨学金申込専用ページ ■ログイン 「マイナンバー提出書」を手元に準備 申込IDとパスワードを入力して、下の「次へ」ボタンを押してください。 申込ID・パスワードについて 【注意】 Z D 2 3 ◆ユーザID・パスワード 同封の緑色封筒「マイナンバー提出書の セット」に記載があります。申込IDのみ転記 注)パスワード入力の際は全角・半角、大文字・小文字の区別をします してください。 〇メールアドレス登録 登録するメールアドレスを入力してください。 ページ最下部の「送信」ボタンを押すと、入力したメールアドレス宛に認証コードが 「メールアドレス登録」「新しいバス ワードの設定」「メールアドレス認証」 については、「奨学金案内」42ページを 【登録するメールアドレスについて】 申込IDやハスワードを忘れた場合の、申込IDの通知やハスワード初期化の認証に使用されます。迷 惑メール設定をしている場合、認証メールが届かない可能性があります。〈jsas@ses.jasso.go.jp からのメールを受信できるようにしてください。 見ながら、画面の指示に従って進めて ください。 ○新しいパスワードの設定 初回のみ「マイナンバー提出書」に印字されているパスワードの変更が必要です。 新しいパスワードを設定してください。 【パスワードの管理について】 ◆第三者に推測されやすい数字や英字(生年月日、電話番号、氏名のイニシャル等)を使用しない でください。 ◆第三者にパスワードを教えないでください。 ◆第三者の目につく場所にバスワードを記入したメモを残さないでください。◆【バスワードの作成条件】 半角の英字、数字を含む組合せであること。 8~16文字以内であること。 申込IDと異なる文字列であること 現在登録済みのパスワードと異なるものであること。 〇メールアドレス認証

アカウント情報登録完了 と表示されたら、メールアドレスと申込IDを「奨学金案内」裏表紙の「おぼえ書き」に書き写してください。「次へ」を押すと**メインメニュー** が表示されます。「奨学金申込」をクリックします。

入力したメールアドレスに認証コードを送信しました。 メールに記載の認証コードを入力してください。



	(+ + + 12+ 12
①-あなたの氏名・誓約情報	あなたが在学している学校が確認大 学等(給付奨学金対象校)である場
日本学生支援機構理事長 殿	合は、給付奨学金の内容を含んだ画 面が表示されます。
私は貴機構奨学金の申込みにあたり、学校に提出した「確認書兼同意書」にしたがい、奨学生に採用決 ▽ 定後は速やかに「返還誓約書」を提出し、貸与が終了した後は滞りなく返還すること及び以下の申込み記	
を	誓約日はスカラネット入力日として ください。ここで入力した誓約日を
	基準とし、成年判定を行います。
誓約日 西暦] 【注意】
(半角数字) 5文字以内 5文字以内	◆誓約日
氏名(全角カナ)	下書きの時点では空欄
15文字以内 15文字以内	(V) ロロ、原 (R) (FH)
生年月日 ▼ 年 月 日生	漢字氏名には「を」「ヲ」ともに入力 できますが、カナ氏名に「ヲ」は入
<参考>	力できません。カナ氏名には代わり に「オ」と入力してください。
生年月日の入力を誤ると、正しく成年判定を行 和暦 西暦 和暦 西暦	(例) 漢字氏名 機構 かをる
うことができませんので注意してください。 8 1996 13 2001 9 1997 14 2002	
平成 10 1998 平成 15 2003	姓・名欄ともに、「スペース」は入力 しないでください(ミドルネームは
11 1999 16 2004	名とつなげて入力してください)。 (例) 奨学 トーマス 太郎
12 2000 J17 2005 J	→
国籍	A + 1 5 4 4 5 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1
国籍が「日本国籍以外」の場合、在留資格を選択してください。	△ カナ氏名は、振込口座の名義 人氏名と同一であることが必要で
※国籍が「日本国籍以外」を選んだ人は、在留資格の証明書類を学校へ提出する必要があります。	■ <u>す。通帳の口座名義人氏名を必ず確</u> 認しながら入力してください。
※在留資格が永住者又は特別永住者の場合は、在留期間(満了日)の入力は不要です。	外国籍の人は「奨学金案内 10ペ
在留資格	ージの表のとおり 在留資格に制限
在留期間(満了日) 西暦(半角数字 4 桁) 年 月 日 ◀	があります。 必ず在留資格を在留 カード等で確認してください。
在留資格が「定住者」の場合、日本に永住する意思がありますか。 〇はい 〇いいえ	日本人の配偶者等、永住者の配偶
	者等及び定住者の人は、在留期間
※誓約日は以後訂正することができません。	(満了日)を入力してください。在 留資格が法定特別永住者又は永住
STEP3	者の場合は、在留期間 (満了日)の 入力は不要です。
②-奨学金申込情報	
	◆希望する貸与奨学金
○ (2) 第一種奨学金を希望するが、不採用の場合第二種奨 学金を希望します。 ○ (3) 第二種奨学金のみ希望します。	◆布 差9 る貝→奖子並 (1) ~ (14) のうち、1つ 選択してください
(3) 第二種奨学金のみ希望します。(b) 併用貸与を希望する人のみ記入してください。	(1)~(14)のうち、1つ
○ (3) 第二種奨学金のみ希望します。(b) . 併用貸与を希望する人のみ記入してください。○ (4) 第一種奨学金及び第二種奨学金との併用貸与のみを希望します。	(1) ~ (14) のうち、1つ 選択してください
 ○ (3) 第二種奨学金のみ希望します。 (b) 併用貸与を希望する人のみ記入してください。 ○ (4) 第一種奨学金及び第二種奨学金との併用貸与のみを希望します。 ○ (5) 併用貸与を希望するが、不採用の場合第一種奨学金のみ希望します。 	(1)~(14)のうち、1つ選択してください つを選択してください。 (8)。 (9)を選択する人へ) 既に第一種・第二種のどちらか一方
○ (3) 第二種奨学金のみ希望します。(b) . 併用貸与を希望する人のみ記入してください。○ (4) 第一種奨学金及び第二種奨学金との併用貸与のみを希望します。	(1) ~ (14) のうち、1つ 選択してください つを選択してください。 [(8) (9) を選択する人へ] 既に第一種・第二種のどちらか一方 を貸与中(又は貸与予定)の予約採 用者又は短期大学・高等専門学校・
 ○ (3) 第二種奨学金のみ希望します。 (b) 併用貸与を希望する人のみ記入してください。 ○ (4) 第一種奨学金及び第二種奨学金との併用貸与のみを希望します。 ○ (5) 併用貸与を希望するが、不採用の場合第一種奨学金のみ希望します。 ○ (6) 併用貸与不採用及び第一種奨学金不採用の場合、第二種奨学金を希望します。 	(1) ~ (14) のうち、1つ 選択してください つを選択してください。 ((8) (9) を選択する人へ) 既に第一種・第二種のどちらか一方 を貸与中(又は貸与予定)の予約採 用者又は短期大学・高等専門学校・ 専修学校から大学への編入学により 第二種奨学金を継続する人で、
 ○ (3) 第二種奨学金のみ希望します。 (b) 併用貸与を希望する人のみ記入してください。 ○ (4) 第一種奨学金及び第二種奨学金との併用貸与のみを希望します。 ○ (5) 併用貸与を希望するが、不採用の場合第一種奨学金のみ希望します。 ○ (6) 併用貸与不採用及び第一種奨学金不採用の場合、第二種奨学金を希望します。 ○ (7) 併用貸与不採用の場合、第二種奨学金のみ希望します。 	(1) ~ (14) のうち、1つ 選択してください つを選択してください。 (18) (9) を選択する人へ) 既に第一種・第二種のどちらか一方 を貸与中(又は貸与予定)の予約採 用者又は短期大学・高等専門学校・ 専修学校から大学への編入学により 第二種奨学金を継続する人で、 今回の申込みでもう一方の奨学金を
 ○ (3) 第二種奨学金のみ希望します。 (b) 併用貸与を希望する人のみ記入してください。 ○ (4) 第一種奨学金及び第二種奨学金との併用貸与のみを希望します。 ○ (5) 併用貸与を希望するが、不採用の場合第一種奨学金のみ希望します。 ○ (6) 併用貸与不採用及び第一種奨学金不採用の場合、第二種奨学金を希望します。 ○ (7) 併用貸与不採用の場合、第二種奨学金のみ希望します。 ○ (2) 現在奨学金の貸与を受けている人のみ記入してください。 ○ (3) 第二種奨学金の貸与を受けていますが、第一種奨学金への変更を希望します。 ○ (9) 第一種奨学金の貸与を受けていますが、第二種奨学金への変更を希望します。 	(1) ~ (14) のうち、1つ 選択してください つを選択してください。 ((8)、9)を選択する人へ」 既に第一種・第二種のどちらか一方 を貸与中(又は貸与予定)の予約採 用者又は短期大学・高等専門学校・ 専修学校から大学への編入学により 第二種奨学金を継続する人で、 今回の申込みでもう一方の奨学金を 申し込み、奨学金の種類変更(第二 種一第一種へ、又は第一種→第二種
 ○ (3) 第二種奨学金のみ希望します。 (b) 併用貸与を希望する人のみ記入してください。 ○ (4) 第一種奨学金及び第二種奨学金との併用貸与のみを希望します。 ○ (5) 併用貸与を希望するが、不採用の場合第一種奨学金のみ希望します。 ○ (6) 併用貸与不採用及び第一種奨学金不採用の場合、第二種奨学金を希望します。 ○ (7) 併用貸与不採用の場合、第二種奨学金のみ希望します。 ○ (2) 現在奨学金の貸与を受けている人のみ記入してください。 ○ (3) 第二種奨学金の貸与を受けていますが、第一種奨学金への変更を希望します。 ○ (9) 第一種奨学金の貸与を受けていますが、第二種奨学金への変更を希望します。 ○ (10) 第一種奨学金の貸与を受けていますが、併用貸与への変更を希望します。 	(1) ~ (14) のうち、1つ 選択してください つを選択してください。 (8) (9) を選択する人へ) 既に第一種・第二種のどちらか一方 を貸与中(又は貸与予定)の予約採 用者又は短期大学・高等専門学校・ 専修学校から大学への編入学により 第二種奨学金を継続する人で、 今回の申込みでもう一方の奨学金を 申し込み、奨学金の種類変更(第二 種一第一種へ、又は第一種→第二種 へ)を希望する場合は、以下のよう に入力してください。
 ○ (3) 第二種奨学金のみ希望します。 (b) . 併用貸与を希望する人のみ記入してください。 ○ (4) 第一種奨学金及び第二種奨学金との併用貸与のみを希望します。 ○ (5) 併用貸与を希望するが、不採用の場合第一種奨学金のみ希望します。 ○ (6) 併用貸与不採用及び第一種奨学金不採用の場合、第二種奨学金を希望します。 ○ (7) 併用貸与不採用の場合、第二種奨学金のみ希望します。 ○ (2) 現在奨学金の貸与を受けている人のみ記入してください。 ○ (3) 第二種奨学金の貸与を受けていますが、第一種奨学金への変更を希望します。 ○ (9) 第一種奨学金の貸与を受けていますが、第二種奨学金への変更を希望します。 ○ (10) 第一種奨学金の貸与を受けていますが、併用貸与への変更を希望します。 ○ (11) 第二種奨学金の貸与を受けていますが、併用貸与への変更を希望します。 	(1) ~ (14) のうち、1つ 選択してください
 ○ (3) 第二種奨学金のみ希望します。 (b) 併用貸与を希望する人のみ記入してください。 ○ (4) 第一種奨学金及び第二種奨学金との併用貸与のみを希望します。 ○ (5) 併用貸与を希望するが、不採用の場合第一種奨学金のみ希望します。 ○ (6) 併用貸与不採用及び第一種奨学金不採用の場合、第二種奨学金を希望します。 ○ (7) 併用貸与不採用の場合、第二種奨学金のみ希望します。 ○ (10) 第二種奨学金の貸与を受けている人のみ記入してください。 ○ (2) 第二種奨学金の貸与を受けていますが、第一種奨学金への変更を希望します。 ○ (10) 第一種奨学金の貸与を受けていますが、併用貸与への変更を希望します。 ○ (11) 第二種奨学金の貸与を受けていますが、併用貸与への変更を希望します。 ○ (13) 第一種奨学金の貸与を受けていますが、併用貸与への変更を希望します。 ○ (14) 第二種奨学金の貸与を受けていますが、併用貸与への変更を希望します。 	(1) ~ (14) のうち、1つ 選択してください 「後親いしてください。」 (18) (9) を選択する人へ」 既に第一種・第二種のどちらか一方 を貸与中(又は貸与予定)の予約採 用者又は短期大学・高等専門学校・ 専修学校から大学への編入学により 第二種奨学金を継続する人で、 今回の申込みでもう一方の奨学金を 申し込み、奨学金の種類で重り第二種 一第一種へ、又は第一種一第二種 へ)を希望する場合は、以下のよう に入力してください。 ○ 奨学生番号(623又は823から始 まる奨学生番号)が決定している 場合
 ○ (3) 第二種奨学金のみ希望します。 (b) . 併用貸与を希望する人のみ記入してください。 ○ (4) 第一種奨学金及び第二種奨学金との併用貸与のみを希望します。 ○ (5) 併用貸与を希望するが、不採用の場合第一種奨学金のみ希望します。 ○ (6) 併用貸与不採用及び第一種奨学金不採用の場合、第二種奨学金を希望します。 ○ (7) 併用貸与不採用の場合、第二種奨学金のみ希望します。 ○ (2) 現在奨学金の貸与を受けている人のみ記入してください。 ○ (3) 第二種奨学金の貸与を受けていますが、第一種奨学金への変更を希望します。 ○ (9) 第一種奨学金の貸与を受けていますが、第二種奨学金への変更を希望します。 ○ (10) 第一種奨学金の貸与を受けていますが、併用貸与への変更を希望します。 ○ (11) 第二種奨学金の貸与を受けていますが、併用貸与への変更を希望します。 	(1) ~ (14) のうち、1つ 選択してください ***********************************
 ○ (3) 第二種奨学金のみ希望します。 (b) 併用貸与を希望する人のみ記入してください。 ○ (4) 第一種奨学金及び第二種奨学金との併用貸与のみを布望します。 ○ (5) 併用貸与を希望するが、不採用の場合第一種奨学金のみ希望します。 ○ (6) 併用貸与不採用及び第一種奨学金不採用の場合、第二種奨学金を希望します。 ○ (7) 併用貸与不採用の場合、第二種奨学金のみ希望します。 ○ (2) 現在奨学金の貸与を受けている人のみ記入してください。 ○ (8) 第二種奨学金の貸与を受けていますが、第一種奨学金への変更を希望します。 ○ (9) 第一種奨学金の貸与を受けていますが、併用貸与への変更を希望します。 ○ (10) 第一種奨学金の貸与を受けていますが、併用貸与への変更を希望します。 ○ (11) 第二種奨学金の貸与を受けていますが、併用貸与への変更を希望します。 ○ (13) 第一種奨学金の貸与を受けていますが、併用貸与への変更を希望します。併用貸与不採用の場合、第二種奨学金の貸与を受けていますが、併用貸与への変更を希望します。併用貸与不採用の場合、第二種奨学金への変更を希望します。 	(1)~(14)のうち、1つ選択してください (8)(9)を選択してください。 (8)(9)を選択する人へ) 既に第一種・第二種のどちらか一方を貸与中(又は貸与予定等専門学校・専修学校から大学への編入学により第二種奨学金を継続する人で、今回の申込みでもう一方の奨学金を申し込み、奨学金の種類変更(第二種・第一種へ、又は第一種・第二種へ)を希望する場合は、以下のように入力してください。 (契学生番号(623又は823から始まる奨学生番号)が決定している場合 →(8)又は(9)を選択し、下の奨学生番号欄に決定した奨学生番号を入力する。 (奨学生番号(623又は823から始ま
 ○ (3) 第二種奨学金のみ希望します。 (b) 併用貸与を希望する人のみ記入してください。 ○ (4) 第一種奨学金及び第二種奨学金との併用貸与のみを希望します。 ○ (5) 併用貸与を希望するが、不採用の場合第一種奨学金のみ希望します。 ○ (6) 併用貸与不採用及び第一種奨学金不採用の場合、第二種奨学金を希望します。 ○ (7) 併用貸与不採用の場合、第二種奨学金のみ希望します。 ○ (2) 現在奨学金の貸与を受けている人のみ記入してください。 ○ (8) 第二種奨学金の貸与を受けていますが、第一種奨学金への変更を希望します。 ○ (9) 第一種奨学金の貸与を受けていますが、第二種奨学金への変更を希望します。 ○ (10) 第一種奨学金の貸与を受けていますが、併用貸与への変更を希望します。 ○ (11) 第二種奨学金の貸与を受けていますが、併用貸与への変更を希望します。 ○ (13) 第一種奨学金の貸与を受けていますが、併用貸与への変更を希望します。併用貸与不採用の場合、第二種奨学金への変更を希望します。併用貸与不採用の場合、第二種奨学金の貸与を受けていますが、併用貸与への変更を希望します。併用貸与不採用の場合、第二種奨学金の貸与を受けていますが、併用貸与への変更を希望します。併用貸与不採用の 	(1)~(14)のうち、1つ選択してください 「後報がいってください。
 ○ (3) 第二種奨学金のみ希望します。 (b) . 併用貸与を希望する人のみ記入してください。 ○ (4) 第一種奨学金及び第二種奨学金との併用貸与のみを希望します。 ○ (5) 併用貸与を希望するが、不採用の場合第一種奨学金のみ希望します。 ○ (6) 併用貸与不採用及び第一種奨学金不採用の場合、第二種奨学金を希望します。 ○ (7) 併用貸与不採用の場合、第二種奨学金のみ希望します。 ○ (8) 第二種奨学金の貸与を受けている人のみ記入してください。 ○ (8) 第二種奨学金の貸与を受けていますが、第一種奨学金への変更を希望します。 ○ (10) 第一種奨学金の貸与を受けていますが、併用貸与への変更を希望します。 ○ (11) 第二種奨学金の貸与を受けていますが、併用貸与への変更を希望します。 ○ (13) 第一種奨学金の貸与を受けていますが、併用貸与への変更を希望します。併用貸与不採用の場合、第二種奨学金への変更を希望します。併用貸与不採用の場合、第二種奨学金の貸与を受けていますが、併用貸与への変更を希望します。併用貸与不採用の場合、第二種奨学金への変更を希望します。併用貸与不採用の場合、第一種奨学金への変更を希望します。 	(1)~(14)のうち、1つ選択してください 「(8)、9)を選択する人へ」 既に第一種・第二種のどちらか一方を貸与中(又は授予予定等専門学校・専修学校から大学への編入学により第二種奨シみでもっ一方を受学金をを申し込み、奨学金の種類変更(第二種→第一種へ、又は第一種→第二種へ)を希望する場合は、以下のように入力してください。 ○ 奨学生番号(623又は823から始まる奨学生番号(623又は823から始まる奨学生番号)が決定している場合 →(8)又は(9)を選択し、下の奨学生番号(623又は823から始まる奨学生番号)が決定した奨学生番号を入力する。 ○ 奨学生番号(623又は823から始まる奨学生番号)が未決定の場合 →(8)又は(9)を選択し、下の奨学生番号を入力する。 ○ 奨学生番号(623又は823から始まる奨学生番号)が未決定の場合 →(a)の(1)又は(3)を選択し、別途「変更希望」であることを学
 ○ (3) 第二種奨学金のみ希望します。 (b) . 併用貸与を希望する人のみ記入してください。 ○ (4) 第一種奨学金及び第二種奨学金との併用貸与のみを希望します。 ○ (5) 併用貸与を希望するが、不採用の場合第一種奨学金のみ希望します。 ○ (6) 併用貸与不採用及び第一種奨学金不採用の場合、第二種奨学金を希望します。 ○ (7) 併用貸与不採用の場合、第二種奨学金のみ希望します。 ○ (8) 第二種奨学金の貸与を受けていますが、第一種奨学金への変更を希望します。 ○ (9) 第一種奨学金の貸与を受けていますが、第二種奨学金への変更を希望します。 ○ (10) 第一種奨学金の貸与を受けていますが、併用貸与への変更を希望します。 ○ (11) 第二種奨学金の貸与を受けていますが、併用貸与への変更を希望します。 ○ (13) 第一種奨学金の貸与を受けていますが、併用貸与への変更を希望します。併用貸与不採用の場合、第二種奨学金への変更を希望します。併用貸与不採用の場合、第二種奨学金への変更を希望します。併用貸与不採用の場合、第一種奨学金への変更を希望します。 ※ (12) は欠番です 	(1)~(14)のうち、1つ 選択してください 「一を選択してください」 「一を選択してください。 ((8)、9)を選択する人へ」 既に第一種・第二種のどちらか一方を貸与中(又は貸与予定)の門学校・専修学校から大学へ高等刷学により第二種奨学金を継続する人で、今回の申込み、奨学会を相手ので、会回の申込みが、受学のでは第一様では、1年で、1年で、1年で、1年で、1年で、1年で、1年で、1年で、1年で、1年で
 ○ (3) 第二種奨学金のみ希望します。 (b) . 併用貸与を希望する人のみ記入してください。 ○ (4) 第一種奨学金及び第二種奨学金との併用貸与のみを希望します。 ○ (5) 併用貸与を希望するが、不採用の場合第一種奨学金のみ希望します。 ○ (6) 併用貸与不採用及び第一種奨学金不採用の場合、第二種奨学金を希望します。 ○ (7) 併用貸与不採用の場合、第二種奨学金のみ希望します。 ○ (8) 第二種奨学金の貸与を受けている人のみ記入してください。 ○ (8) 第二種奨学金の貸与を受けていますが、第一種奨学金への変更を希望します。 ○ (9) 第一種奨学金の貸与を受けていますが、併用貸与への変更を希望します。 ○ (10) 第一種奨学金の貸与を受けていますが、併用貸与への変更を希望します。 ○ (11) 第二種奨学金の貸与を受けていますが、併用貸与への変更を希望します。 ○ (13) 第一種奨学金の貸与を受けていますが、併用貸与への変更を希望します。併用貸与不採用の場合、第二種奨学金への変更を希望します。 ○ (14) 第二種奨学金の貸与を受けていますが、併用貸与への変更を希望します。併用貸与不採用の場合、第一種奨学金への変更を希望します。 ※ (12) は欠番です 上記 (8) 、(9) 、(10) 、(11) 、(13) 、(14) を選択した人は奨学生番号を記入してください。 	(1)~(14)のうち、1つ選択してください 「(8)、9)を選択する人へ」 既に第一種・第二種のどちらか一方を貸与中(又は貸与予定)の予約採用者又は短期大学・高等専門学校・専修学校から大学への編入学により第二種奨学金を継続する人で、今回の申込みでもの種類変更(第二種→第一種へ、又は第一種→第二種へ)を希望する場合は、以下のように入力してください。 「要学生番号(623又は823から始まる奨学生番号(623又は823から始まる奨学生番号)が決定している場合 →(8)又は(9)を選択し、下の奨学生番号を入力する。 ○奨学生番号(523又は823から始まる奨学生番号(623又は823から始まる奨学生番号)が未決定してる場合 →(8)又は(9)を選択し、下の奨学生番号を入力する。
 ③ 第二種奨学金のみ希望します。 (b) 併用貸与を希望する人のみ記入してください。 ④ 第一種奨学金及び第二種奨学金との併用貸与のみを希望します。 ⑤ 併用貸与を希望するが、不採用の場合第一種奨学金のみ希望します。 ⑥ 併用貸与不採用及び第一種奨学金の採用の場合、第二種奨学金を希望します。 ⑥ 伊用貸与不採用の場合、第二種奨学金のみ希望します。 ⑥ 現在奨学金の貸与を受けている人のみ記入してください。 ⑥ 第二種奨学金の貸与を受けていますが、第一種奨学金への変更を希望します。 ⑥ (10) 第一種奨学金の貸与を受けていますが、併用貸与への変更を希望します。 ⑥ (11) 第二種奨学金の貸与を受けていますが、併用貸与への変更を希望します。 ⑥ (13) 第一種奨学金の貸与を受けていますが、併用貸与への変更を希望します。 併用貸与不採用の場合、第二種奨学金の変更を希望します。 ⑥ (14) 第二種奨学金の変与を考望します。 ※ (12) は欠番です 上記 (8) 、(9) 、(10) 、(11) 、(13) 、(14) を選択した人は奨学生番号を記入してください。 奨学生番号 	(1)~ (14) のうち、1つ 選択してください (8) (9) を選択する人へ) 既に第一種・第二種のどちらかか一方を貸与中(又は貸与予定等の門学校より 事修学校から大学への編別大学・高編人で、今回の申込みでもう一方の要学第二種便学会を継続する一方の要学第二種一、多希望する場合は、の一選学生番号(623又は823から始まる変学生番号(623又は823から始まる変学生番号(623又は823から始まる変学生番号(623又は823から始まる変学生番号(623又は823から始まる変学生番号(623又は823から始まる変学生番号(623又は823から始まる変学生番号(623又は823から始まる変学生番号(623又は823から始まる変学生番号(623又は823から始まる変学生番号(623又は823から始まる変学生番号(623又は823から始まる変学生番号(623又は823から始まる変学生番号(623又は823から始まる変学生番号(623又は823から始まる変学生番号)が未決定の場合) (8) (9) (13) (14) を選択した人は要学生番号を必ず入力してください。
 ① 第二種奨学金のみ希望します。 (b) 併用貸与を希望する人のみ記入してください。 ○ (4) 第一種奨学金及び第二種奨学金との併用貸与のみを希望します。 ○ (5) 併用貸与不採用及び第一種奨学金不採用の場合、第二種奨学金を希望します。 ○ (6) 併用貸与不採用及び第一種奨学金の承希望します。 ○ (7) 併用貸与不採用の場合、第二種奨学金のみ希望します。 ○ (6) 現在奨学金の貸与を受けている人のみ記入してください。 ○ (8) 第二種奨学金の貸与を受けていますが、第一種奨学金への変更を希望します。 ○ (9) 第一種奨学金の貸与を受けていますが、第二種奨学金への変更を希望します。 ○ (10) 第一種奨学金の貸与を受けていますが、併用貸与への変更を希望します。 ○ (11) 第二種奨学金の貸与を受けていますが、併用貸与への変更を希望します。 ○ (13) 第一種奨学金の貸与を受けていますが、併用貸与への変更を希望します。併用貸与不採用の場合、第二種奨学金の貸与を受けていますが、併用貸与への変更を希望します。併用貸与不採用の場合、第二種奨学金の資与を受けていますが、併用貸与への変更を希望します。併用貸与不採用の場合、第一種奨学金の資与を受けていますが、併用貸与への変更を希望します。 ※ (12) は欠番です 上記 (8) 、(9) 、(10) 、(11) 、(13) 、(14) を選択した人は奨学生番号を記入してください。 奨学生番号欄は入力不要。 ○ (23) 又は (11) を選択してください。 → 奨学生番号欄は入力不要。 なお、併用貸与を受ける場合は(10) 又は (11) を選択してください。 → 奨学生番号欄は入力不要。 なお、併用貸与を受ける場合は(10) 又は (11) を選択してください。 → 奨学生番号欄は入力不要。 なお、併用貸与を受ける場合は併用貸与の学力基準(提学金案内) 10 ページ参照)及び家計基準(収入・所得の目安は11ペー(13)、(14) を選択する人へ) 希望する併用貸与への変更が不採用だった際に、現在貸与を受けている奨学金とは異なる種類の貸与奨学へへの変更 	(1)~(14)のうち、1つ選択してください (8)。(9)を選択する人へ) 既に第一種・第二種のどちらか一方を貸与中(又は貸与予によりの手校・専修学校から大学へのの事がでより第二種奨学金を継続する一方の要学会の種類変更・第二種、つ)を希望する場合は、以下のように入力してください。 ○奨学生番号(623又は823から始まる受学生番号(623又は823から始まる受学生番号)が決定している場合。 ○ 段学生番号(623又は823から始まる奨学生番号(623又は823から始まる受学生番号(623又は823から始まる変学生番号(623又は823から始まる変学生番号(623又は823から始まる変学生番号(623又は823から始まる変学生番号(623又は823から始まる変学生番号(623又は823から始まる変学生番号(623又は823から始まる変学生番号(623又は823から始まる変学生番号(623又は823から始まる変学生番号(623又は823から始まる変学生番号(623又は823から始まる変学生番号(623又は823から始まる変学生番号を入力する。 ② (9) (13) (14)を選択した人は要学生番号を必ず入力してください。
 ○ (3) 第二種奨学金のみ希望します。 (b) 併用貸与を希望する人のみ配入してください。 ○ (4) 第一種奨学金及び第二種奨学金との併用貸与のみを布望します。 ○ (5) 併用貸与を希望するが、不採用の場合第一種奨学金のみ希望します。 ○ (6) 併用貸与不採用及び第一種奨学金不採用の場合、第二種奨学金を希望します。 ○ (7) 併用貸与不採用の場合、第二種奨学金のみ希望します。 ○ (6) 現在奨学金の貸与を受けている人のみ記入してください。 ○ (8) 第二種奨学金の貸与を受けていますが、第一種奨学金への変更を希望します。 ○ (9) 第一種奨学金の貸与を受けていますが、第二種奨学金への変更を希望します。 ○ (10) 第一種奨学金の貸与を受けていますが、併用貸与への変更を希望します。 ○ (11) 第二種奨学金の貸与を受けていますが、併用貸与への変更を希望します。併用貸与不採用の場合、第二種奨学金の資更を希望します。 ○ (14) 第二種奨学金の貸与を受けていますが、併用貸与への変更を希望します。併用貸与不採用の場合、第一種奨学金の変更を希望します。 ○ (14) 第二種奨学金の貸与を受けていますが、併用貸与への変更を希望します。併用貸与不採用の場合、第一種奨学金の貸与を受けていますが、併用貸与への変更を希望します。 ○ (17) は (11) を選択してください。 ○ (18) (19) (11) を選択してください。 ○ (19) (11) を選択してください。 ○ (10) (11) を選択してください。 ○ (14) を選択してください。 ○ (15) (14) を選択してください。 ○ (15) (14) を選択する人人」 希望する併用貸与への変更が不採用だった際に、現在貸与を受けている場合 ○ (15) (14) を選択の貸与奨学金への変更適定してください。 ○ (29学生番号) (623 又は 823 から始まる奨学生番号) が決定している場合 	(1)~(14)のうち、1つ選択してください (8)。(9)を選択する人へ) 既に第一種・第二種のどちらか一方を貸与中(又は貸与予によりの手校・専修学校から大学へのの事がでより第二種奨学金を継続する一方の要学会の種類変更・第二種、つ)を希望する場合は、以下のように入力してください。 ○奨学生番号(623又は823から始まる受学生番号(623又は823から始まる受学生番号)が決定している場合。 ○ 段学生番号(623又は823から始まる奨学生番号(623又は823から始まる受学生番号(623又は823から始まる変学生番号(623又は823から始まる変学生番号(623又は823から始まる変学生番号(623又は823から始まる変学生番号(623又は823から始まる変学生番号(623又は823から始まる変学生番号(623又は823から始まる変学生番号(623又は823から始まる変学生番号(623又は823から始まる変学生番号(623又は823から始まる変学生番号(623又は823から始まる変学生番号(623又は823から始まる変学生番号を入力する。 ② (9) (13) (14)を選択した人は要学生番号を必ず入力してください。
 (3) 第二種奨学金のみ希望します。 (b) 供用貸与を希望する人のみ記入してください。 (4) 第一種奨学金及び第二種奨学金との併用貸与のみを布望します。 (5) 併用貸与を希望するが、不採用の場合第一種奨学金のみ希望します。 (6) 併用貸与不採用及び第一種奨学金の承知とします。 (7) 併用貸与不採用の場合、第二種奨学金のみ希望します。 (c) 現在奨学金の貸与を受けている人のみ記入してください。 (a) 第二種奨学金の貸与を受けていますが、第一種奨学金への変更を希望します。 (b) 第一種奨学金の貸与を受けていますが、第二種奨学金への変更を希望します。 (c) 第一種奨学金の貸与を受けていますが、併用貸与への変更を希望します。 (d) 第一種奨学金の貸与を受けていますが、併用貸与への変更を希望します。 (11) 第二種奨学金の貸与を受けていますが、併用貸与への変更を希望します。 併用貸与不採用の場合、第二種奨学金への変更を希望します。 (14) 第二種奨学金の貸与を受けていますが、併用貸与への変更を希望します。 併用貸与不採用の場合、第一種奨学金のの変更を希望します。 (14) 第二種奨学金の貸与を受けていますが、併用貸与への変更を希望します。 付用貸与不採用の場合、第一種奨学金を申し込み、併用貸与を希望する場合は (10) 又は (11) を選択してください。 (2) は欠番です 上記 (2) 、(3) 、(10) 、(11) 、(13) 、(14) を選択した人は奨学生番号を記入してください。 (2) 「製学生番号を設ける場合は併用貸与の学力基準 (製学金案内」1 0 ページ参照)及び家計基準 (収入・所得の目安は1 1ペービ3・(44) を選択する人へ) 希望する併用貸与への変更が不採用だった際に、現在貸与を受けている奨学金とは異なる種類の貸与奨学金への変更選択してください。 	(1)~ (14) のうち、1つは選択してください (8) (9) を選択する人へ) 既に第一種・第二種のどちらかか一方を貸与中(又は貸与予定)の予約採用者又は短与予定。高等調入で、専修学校から大学への種類変更の申込みでもの一種奨学金を申し込みでもの一種契が会のをものである。 (2) 学生番号のは第一・以下のよりに入力して、ださい。 (2) 受当生番号(623又は823から始まる多奨学生番号(623又は823から始まる受学生番号側が決定している場合(9) 決定した奨学生番号を入力する。 (3) 又は(9) を選択し、下の奨学生番号(623又は823から始まる受学生番号(623又は823から始まる奨学生番号(623又は823から始まる受学生番号(623又は823から始まる奨学生番号(623又は823から始まる奨学生番号(623又は823から始まる受学生番号(623又は823から始まる受学生番号(623又は823から始まる受学生番号(623又は823から始まる受学生番号(623又は823から始まる受学生番号(623又は823から始まる受学生番号を必ず入力してください。

②-奨学金申込情報(3 ページ)の注意事項

- ◆併用貸与を希望する申込区分が、以下の ⑤ 、 ⑥ 、 (7) の場合、併用貸与が不採用になった場合を想定して第2希望・第3希望の貸与奨学金の月額を選択してください。なお、採用後、貸与月額を減額することができます。
- 5 第1希望:第一種奨学金と第二種奨学金(併用) 第2希望:第一種奨学金
- 6 第1希望:第一種奨学金と第二種奨学金(併用) 第2希望:第一種奨学金 第3希望:第二種奨学金
- 7 第1希望:第一種奨学金と第二種奨学金(併用) 第2希望:第二種奨学金
- ◆予約採用候補者が在学採用で以下の申込区分を希望する場合
 - (8) 第二種奨学金から、第一種奨学金への変更を希望する
 - (9) 第一種奨学金から、第二種奨学金への変更を希望する
 - 13 第1希望:第一種と第二種(併用) 第2希望:第二種への変更
- 14 第1希望:第一種と第二種(併用) 第2希望:第一種への変更

予約採用の奨学生番号が

スカラネット入力においては (8) 、 (9) 、 (13) 又は (14) を選択し、<u>貸与中の奨学金の奨学</u> 生番号を入力してください。 スカラネット入力においては<u>(1)「第一種奨学金のみ希望します」又は(3)「第二種奨学金のみ希望します」を選択し</u>、別途(8)、(9)、(13)又は(14)を希望していることを<u>学校担当者</u>に申し出てください。

決定していない場合

- ◆予約採用候補者が在学採用で以下の申込区分を希望する場合
 - (10) 第一種奨学金に加えて、第二種奨学金の貸与を希望する
 - (11) 第二種奨学金に加えて、第一種奨学金の貸与を希望する

予約採用の奨学生番号が 決定している場合

決定していない場合

スカラネット入力においては (10) 又は (11) を選択し、貸与中の奨学金の奨学生番号を入力してください。

 スカラネット入力においては (10) 又は (11)

 <u>を選択</u>し、貸与中の奨学生番号入力欄は空欄のま

 まにしてください。

※申込区分(8)~(14)を希望し、不採用となった場合でも貸与中の奨学金が打ち切られることはありません。

▲重要

② - 奨学金申込情報で入力した奨学生番号は、⑥ - あなたの履歴情報(8 \mathbb{C}^+ ジ)では入力しないでください。

ーあなたの在学情報		(2) 学籍番号は半角英数字や半角ハイフン(-)以 外の文字を入力することができません。学
学校 (1) ***** 0 *****************************	(1)	籍番号にそれ以外の文字が使われている × 大学
1) あなたの学校名を確認してください。	(-/	(注意)
2) あなたの学籍番号を記入してください。		学生証に印字されている英語2文字と数字5
あなたの在学している学部(科)名を選択している学部(科)名を選択している学部(科)名を選択している学部(科)名を選択している。		#
(注) 短期大学・専修学校に在学している		【注意】
あなたは専攻科または別科に在学している		「いいえ」を選択
学年を記入してください。	(5) (5) (5) (5) (5) (5) (5) (5) (5) (5)	学年 (3) 「記に物報の へ入す・学来アルギロチ 」
昼夜課程を選択してください。		【注意】
	○ ○ 通年スクーリング ○ 昼間スクーリ	▽グ 「昼(昼夜間開講を含む)
現在通っている学校への入学について、 年月等を記入してください。	欠の①~③のうち該当するものを選択し、	○2年次休学のため3年次へ進級できな
・ ①現在通っている学校の1年次に入学した	。(同一校で転学部・科している場合を	かった場合→2学年 含む) 0.2 欠次に
→入学した年月:	西暦(半角数字4桁) 年	月 ○ 3 年次編入→ 3 学年
	(課程)に、他の学校から編入学又は転学し	(0) 是于陈住9于工18 (全区历册日57)
(以下3つの年月を全て記入してください)→現在通っている学校へ編入学又は転	ハ。) 営する前に在学していた学校へ入学した年	又は「夜」を選択してください。
The state of the s	西暦(半角数字4桁) 年	月 (7) ①~③から該当する1つを選択してくださ
→現在通っている学校へ編入学又は転学す	る前に在学していた学校に在籍していた最終	年月:
	西暦(半角数字4桁) 年	月 編入学又は転学した人は、前に在学して いた学校への入学年月等も入力が必要で
→現在通っている学校へ編入学又は転	——————————————————————————————————————	
)③現在通っている学校の2年次以上の学	西暦(半角数字4桁) 【 サービュー サービュー サービュー サービュー サービュー サービュー サービュー サービュー サービュー サービュー・フィー・コード フィー・コード フィー・コード フィー・コード フィー・コード フィー・コード フィー・コート コート コート コート コート コート コート コート コート コート	なお、高等専門学校からの編入学又は転
	+ (課任) に、他の子仪がり編八子又は# た学校 (大学、短大、高専、専門学校) ;	が2つ 門学校の4年次進級年月を入力してくださ
以上ある)。		い。 (例)
(以下5つの年月を全て記入してくださ)	,_)	2021年4月にA短期大学に入学。2023年 3月にA短期大学卒業後、2023年4月にB
【1回目の編入学】 →2回目の学校へ編入学又は転学する前	かに在学していた学校へ λ 学した年目:	大学の3年次に編入学
	西暦(半角数字 4 桁) 年	・現在通っている学校へ編入学又は転学 する前に在学していた学校へ入学した
→2回目の学校へ編入学又は転学する前に		年月 : 2021年4月(A短期大学の入学年月)
	西暦(半角数字4桁) 年	・現在通っている学校へ編入学又は転学
→2回目の学校へ編入学又は転学した年	月 :	する前に在学していた学校に在籍していた最終年月
【2回目の編入学】	西暦(半角数字4桁)[]年[_	月 : 2023年3月(A短期大学の卒業年月) ・現在通っている学校へ編入学又は転学
	る前に在学していた学校に在籍していた最終	年月: した年月
	西暦(半角数字4桁) 年	: 2023年4月(B大学へ編入学した年月)
→現在通っている学校へ編入学又は転	—————————————————————————————————————	短期大学の専攻科に在学している人は、
)あなたの正規の卒業予定年月を記入して [、]	四僧(千角数子4桁)[]	・専攻科に入学する前に通っていた学校
		へ入学した年月 本事な科に入学する前に通っていた学校
)あなたの正規の修業年限を記入してくだ。	(17330(3 1 113)	か月【注意】
人学・卒業予定年月早見表>		4年0か月
(子・千米) た十万十元 (2) 023年4月現在 1年生	2023年4月現在 2年生	入学年月のみを入力する設問となります
023年4月現在 1年至 修業年限 入学年月 卒業予定年月		ので、現在在籍している課程の1年次に入
2年 2025/3	2年 2024/3	編入学又は転学した人は、編入学又は転
3年 2026/3	3年 2025/3	学する前の学校の1年次に入学(高等専門学校からの編入学又は転学の場合は、高
4年 2023/4 2027/3	4年 2022/4 2026/3	等専門学校の4年次進級)した実際の年 月)を入力してください。
5年 2028/3	5年 2027/3	717 27030 € 1/26 0.0
6年 2029/3	6年 2028/3	参 (8) 通常は正規の卒業予定年月を入力します。
023年4月現在3年生	2023年4月現在4年生	考 例えば新入生で2年課程の人は2025年3
修業年限 入学年月 卒業予定年月 3年 2024/3	修業年限 入学年月 卒業予定年 4年 2024/3	月 月になりますが、過去に休学や留年をした ことがある人は、入学当初の卒業予定では
4年 2025/3	5年 2020/4 2025/3	なく、今現在の卒業予定期を入力してくだ
5年 2021/4 2026/3	6年 2026/3	さい(左に掲載の <入学・卒業予定年月早 見表> を参照してください なお、年度
3 + 2020/3		一 一
6年 2027/3		金中修了など特別な事情により、卒業月が 3月以外になる学部・学科

とのできる期間は通常課程の標準修業年限に相当する期間のみとなります。この場合、卒業 予定年月は通常課程の卒業予定年月を、修業年限は通常課程の標準修業年限を記入のうえ、 学校担当者へ申し出てください。

(2023年4月入学者の例)

通常課程の標準修業年限は2年・卒業予定年月は2025年3月

3年かけて履修し2026年3月が卒業予定年月となる長期履修学生

⇒卒業予定年月は2025年3月・修業年限は2年0ヵ月と入力してください。

なお、第二種奨学金の場合は、採用後に所定の手続きを行うことによって学則に定 める「長期履修課程の修業年限の終期まで」貸与を延長することができます。詳しく は、学校に相談してください。

⑨ 「修業年限」とは、あなたの学部・学科が 何年課程のものかという意味です。

※現時点からあと何年通うかという意味 ではありません。入力間違いをしない よう注意してください。

○4年課程の3年次に在学(編入)する

○2年課程に在学し、1年次の途中で申し 込む人の修業年限は2年(1.5年ではあ りません)。

人の修業年限は4年。

### 1 (16 多人が 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1	(個域以換内大力)
田田	世帯中を生まれてください。
(1) あなの場所は別を無いしてください。	接受記言するか、記書時間が中間部のもとも合理と、対している。 第 名明はているが、原語時間が中間部のもとも合理と、対している。 第 名明はているが、原語時間が中間部のもとも合理と、
### (保料を含しました)(本語は、中国主なの通知を対しているのとなった。	語る意思する。 (注意) 自名・
(注意でして、公本会の主要などの意思を担います。 「は、「は、「は、「は、「は、「は、「は、「は、「は、「は、「は、「は、「は、「
### 「	2回にての及び「気持や出しら」を実際のうえ、支持や出しる他の入力 過去を含する人が「自然を通り」を実にした場合でも、自然語での背談からの取込 であってのままくとかります。自然日からを受けるとは、一般できる場合、第一度学生 あららかます。自然では、大学に関い対しているとかります。 「自むこみとなります」を実にした場合では、これにまする。「中度学生 あららからまみとなります」を実にした場合では、まず時からの取込 ので対域のコレー等)を学が、現は、不らくは表現了してのっとなります。 「自むこみとなります」、「自然とは、不らくは表現了してのっとなります。 「自むこみくなります」、「自然とは、不らくは表現了してのっとなります。 「自むこみくなります」、「自然とは、不らくは表現了してのっとなります。 「自む」を実にした人にお願します。 「自む」を実にした人にお願します。 「自び」を実にした人にお願します。 「と対している場合は、不らくなるとない。」 「はははこれにまする」とまた。 「はオールで所属キャンパス学生課へ提出し、 本学webサ/ト 学生生活〉各種届 「か・氏人を実になった。」 「自じ部学(またはこれにまする」と表示に直してください。 (は、土間計書もいすれらの住所)から大学学までの選手を選が美国が当場のをロートル、学生ま はメールで所属キャンパス学生課へ提出した。 「自じ部学(またはこれにまする」と表示に直してください。 「自じ部学(またはこれにまする」となった。 選挙列間ない場合は入力が多ました。 をある場合とり本来は、 「自じの場合はと関心を持ちないましてください。」 「自じの場合はと関心を持ちないましてください。」 生しる」と答えた人は、支配が生じる型はをいてください。 をひまえた人は、支配が生じる型は色によりの ○文をが生じる「文を放生しない (必要者))(作用を表) 1 (自込人力)) となるあなたの現住所を入力してください。 をひまえの記さいまして、とない。 を図する方は、人力の必要はありません。 与の情報 を全とする方は、人力の必要はありません。 与の情報 を全とする方は、人力の必要はありません。 「自己・公立 「自己・公」
の場合の大学等では、19年の日本のでは、20年の日本のでき、20日の日本の入場のもの成立 み物となります。(金利学の主命では、20年の学生を必定する場合、第一を要から自主 日本日本のものはなりみなります。)。日本の大学の自立に対していることの利望側に、70年への自主を対した。19年の中半年人の担任を多数分割としていることの利望側に、70年への自主を対していることの利望側に、70年への自主を対していることの利望側に、70年への自主を対していることの利望側に、70年の自主を対していることの利望側に、70年の自主を対していることの利望側に、70年の自主を対していることの利益といることでは、20年の日本の主を対していることが表現した。19年の日本の主を対していることが表現した。19年の日本の主を対していることが表現した。19年の日本の主を対していることが表現した。19年の日本の主を対していることが表現した。19年の日本の主を対していることの対しませた。19年の日本の主を対していることが表現した。19年の日本の主を対していることが表現した。19年の日本の主を対していることが表現していることが表現していることでは、19年の日本の主を対していることが表現していることを対していることが表現していることを対していることが表現していることを対している。19年の日本の主を対していることが表現していることを対していることが表現していることを対	は最近により、「日本の連手」を認定した場合でき、自宅港の月からの時点であります。「日本の連手」に対している。「日本の重要を表するものは、一名の事業を表している。「日本の連手を表している」との自然を表している。「日本の連手を表している」との自然を表している。「日本の連手を表している」との自然を表している。「日本の連手を表している」との自然を表している。「日本の連手を表している」との自然を表している。「日本の連手を表している」との自然を表している。「日本の連手を表している」との自然を表している。「日本の連手を表している」との自然を表している。「日本の連手を表している」との自然を表している。「日本の連手を表している」との言語を表している。「日本の連手を表している」との言語を表します。 「日本の連手を表していません」を表している。「日本の連手を表している」との連手を表していません。「日本の連手を表している」との言語を表していません。「日本の連手を表していません。」「日本の連手を表していません。」「日本の連手を表していません。」「日本の連手を表していません。」「日本の連手を表していません。」「日本の連手を表していません。」「日本の連手を表していません。」「日本の連手を表していません。」「日本の連手を表していません。」「日本の連手を表していません。」「日本の連手を表していません。」「日本の連手を表していません。」「日本の連手を表していません。」「日本の連手を表していません。」「日本の連手を表していません。」「日本の連手を表していません。」「日本の連手を表していません。」「日本の連手を表していません。」「日本の連手を表したいません。」「日本の連手を表していません。」「日本の連手を表したいません。」「日本の連手を表したいません。」「日本の連手を表したいません。」「日本の連手を表していません。」「日本の連手を表していません。」「日本の連手を表したいません。」「日本の連手を表したいません。」「日本の連手を表したいません。」「日本の連手を表したいません。」「日本の連手を表したいません。」「日本の連手を表したいません。」「日本の連手を表したいません。」「日本の連手を表したいません。」「日本の連手を表したいません。」「日本の連手を表したいません。」「日本の連手を表したいません。」「日本の連手を表したいません。」「日本の連手を表したいません。」「日本の連手を表したいません。」「日本の連手を表したいません。」「日本の連手を表したいません。」「日本の連手を表したい場合のの表しを表しまりまた。」「日本のまた。「日本のまたのまた」「日本のまたのまた」「日本のまたのまた」「日本のまたのまた」「日本のまたのまた」「日本のまたのまた」「日本のまたのまた」「日本のまたのまた」「日本のまたのまた」「日本のまたのまた」「日本のまたのまた」「日本のまたのまた」「日本のまたのまた」「日本のまたのまた」「日本のまたのまた」「日本のまたのまた」「日本のまたのまた」」「日本のまたのまた」「日本のまたのまた」「日本のまたのまた」「日本のまたのまた」「日本のまたのまた」「日本のまたのまた」「日本のまたのまた」「日本のまたのまた」「日本のまたのまた」「日本のまたのまた」「日本のまたのまた」「日本のまたのまた」「日本のまたのまた」「日本のまたのまた」「日本のまた」」「日本のまた」「日本のまた」」「日本のまた」「日本のまた」「日本のまた」「日本のまた」「日本のまた」「日本のまた」「日本のまた」「日本のまた」「日本のまた」」「日本のまた」「日本のまた」」「日本のまた」「日本のまた」」
□ 日本のようとなります。人の必要はあるとなります。「から作用を添加された。生活相手体(原則なお)とのようというなどうからないます。	のクラの組入みとなります。」自分外間の認及みは、生物解析を(原則交別)と のドボラーとでは、スカラネケ人力後、大学に届け出が なから大学等での登録したであるとのます。 ロドボラーはたはこれに達する ・ロドボラーは大きのとおりです。あなたが認当するもの全てを選 ささい。 「経済中毒・である学師がと思うとない。 「佐州持持者いずれもの住所)から大学事までの選字を開めけ当60やロメー したから大学等での選字を開かけま200分以上 なから大学等での選字を開かけま200分以上 なから大学等での選字を開かけま200分以上 なから大学等での選字を開かけま200分以上 なから大学等での選字を開かけま200分以上 なから大学等での選字を開かけま200分以上 なから大学等での選字を開かけま200分以上 なから大学等での選字を開かけま200分以上 なから大学等での選字を対すの形式とり、ア業との選手で、実家から過子が困難 となら場合と使者ない特別なおよりにより、ア業との選手で、実家から過子が困難 となる場合と使者ない特別なおばにより、ア業をの選達で、実家から過子が比しますか。 「父家が生じる可とはないません。 「父家が上した場合、学業経版主変体が生じますか。 「父家が生じる可とない。 「後の妻号」(年外数字) 「仕下検索・学の選手を表したいる」 となるあなたの現住所を入力してください。 「他の妻母 (東京教学) 「日本教育・日本教育・日本教育・日本教育・日本教育・日本教育・日本教育・日本教育・
(は、スカラネット入力後、大学に届け、	は、スカラネット入力後、大学に同け出が、 本学ルのサゼイト 学生生活〉 各種届出 が、任名変更に かんな調性します。 「自宅治生 (またはこれに伴する) 「自宅治生 ア
上記で「日本外選手」が週間される要件は、実のとおりです。あなか改造当するもの全でを選択してください。 いすれたも認恵しない場合は、「日空選子(またはこれに挙する)を選択し直してください。 いずれたも認恵しない場合は、「日空選子(またはこれに挙する)を選択し直してください。 いの実のかえずきまでの選手時間が計造120分以上であって、選手時間中に利用でき 「母来家から大学までの選手時間が計造120分以上であって、選手時間中に利用でき 「母来家から大学までの選手時間が下温が30以上であって、選手時間中に利用でき 「母来家から大学までの選手時間が下温が30以上であって、選手時間中に利用でき 「母子を持ち、いずみない情別な事情しより、子葉との関連で、実家からの選手が困難 」と名えた人は、実家のも遅した場合、実際が上でない。 「全家の他やむを得ない情別な事情しより、子葉との関連で、実家からの選手が困難 」と名えた人は、実家のも遅した場合、実験を提供しますか。 「女家の生じる ○支房が生じない 上記で「支房が生じる」と答えた人は、対常が生じる理由を以下に記入してください。 「毎年まり」と答えた人は、対常が生じる理由を以下に記入してください。 「毎年まり」と答えた人は、対常が生じる理由を以下に記入してください。 「毎年まり」と答えた人は、対常が生じる理由を以下に記入してください。 「毎年まり」と答えた人は、対常が生じる理由を以下に記入してください。 「毎年まり」と答えた人は、対常が生じる理由を以下に記入してください。 「毎年まり」と答えた人は、対常が生じる理由を以下に記入してください。 「毎年まり」と楽さいのはから、大きないのは多くない。 「中海を発見してください。」 「中海を発見する日本の主に対すると、「おんしないまか」とは、フェルの主に対するに対するに対するに対するに対するに対する。「かなたの音を実ま入り返じ、日本の主に対するに対する。「おんたの音をできるが、対すな」」と表示されます。 「毎年を選手る月接続」が「中海を受け、大きない。 「日本の主に対すると、「おんたの音を表する日本を受け、大きない。」 「日本の主に対すると、「おんたの音を表する」」 「中海のの声はましてください。」 「日本の主に対すると、「おんたの音を表する」」 「中海のの声はましているといましていると、「おんたの音を表する」」 「中海のの言と表」に対すると、「おんたの音を表する」」 「本の主に対すると、「おんたの音を表する」」 「本の主に対すると、「おんたの音を表したと」」 「本の言に答案する」 「本の言に答案する」(大きない)「本の音に変えたい、音を見まるし、「本の音になりません」」 「本の言に表する」 「本を表する」 「本を表する」 「本を表する」 「本の音になる」 「本の音になる」 「本を表する」 「本を表する」 「本の言になる」 「本の言になる」 「本を表する」 「本を表	で発生した人にお聞きします。
上立で「日本外語子」が思わられる異性は、次のとおりです。 あなたが設置するもの全でを置いてください。 いすれにも話性したい場合は、日本語学(またにこれに挙する)を選択し自してください。 いずれにも話性したい場合は、日本語学(またにこれに挙する)を選択し自してください。 いっぱい は話性したい場合は、日本語学は「生まれて変更の は一つの主要をから大学学者での選挙等が開発所達1220分とし、日の実家から大学学者での選挙的関係が正確のおいての選挙を取る。 「日本語学(またにこれに挙する)を選択し自してください。 日本語学(本語学の選挙を指摘が下温的シル上であって、選挙時間帯に利用できません) 「日本学者の人を育ない特別な事情により、子楽との関連で、実家からの選挙が出版したい。」 「大き場合」 上記で「多みの他やしを得ない特別な事情により、子楽との関連で、実家からの選挙が出版したい。 「日本学者の人を得ない特別な事情により、子楽との関連で、実家からの選挙が出版したい。」 「古本の事を対した」と考えた人は、実存の生じる発表してください。 「文房が生じる」と考えた人は、実存が生じる理由を以下に定えしてください。 「文房が生じない」 上記で「支房が生じる」と考えた人は、支房が生じる理由を以下に定えしてください。 「日本学者の人の主に「日本の事を対した」」に関係した情報を対しましている事をが理を入力してください。 「日本の上で表示して表されている事なが理な大力として表示して表されている事なが理な大力とい。「日本の上で表示して表されている事なが思想してください。」 「日本外を選集してください。」 「日本外を選集してください。」 「日本外を選集し入りた」「日本の事を対しましている事なが理由するため」を表し、「日本の上で表し、「日本の上で表され、日本の上で表され、「日本の上で表され、日本の上で表され、「日本の上で表も、日本の上で表も、「日本の上で表も、日本の上で表も、「日本の上で表も、日本の上で表も、「日本の上で表も、日本の上で表も、「日本の上で表も、「日本の上で表も、日本の上で表も、日本の上で表も、「日本の上で表も、日本の上で表も、「日本の上で表も、「日本の上で表も、「日本の上で表も、「日本の上で表も、日本の上で表も、日本の上で表も、「日本の上で表も、日本の上で表も、「日本の上で表も、日本の上で表も、日本の上で表も、「日本の上で表も、日本の上で表も、「日本の上で表も、日本の	で発生した人にお聞きします。
日本地外の単分 が適的される要件は、次のとおりです。あなたが設当するもの全でを選択してください。 いの実家から大学きまでの過学時間が月辺の分以上 「②実家から大学きまでの過学時間が月辺の分以上 「③実家から大学きまでの過学時間が月辺の分以上 「③実家から大学きまでの過学時間が月辺の分以上 「③実家から大学きまでの過学時間が月辺の分以上 「③実家から大学きまでの過学時間が月辺の分以上 「③実家から大学きまでの過学時間が月辺の分以上 「③実家から大学きまでの過学時間が月辺の分以上 「③実家から大学きまでの過学時間が月辺の分と上 「○3で東から大学きまでの過学時間が月辺の分と上 「○3で東から大学きまでの過学時間が月辺の分と上 「○3で東から大学きまでの過学時間が月辺の分と上 「○3で東から大学きまでの過学時間が月辺の分と上 「○3で東から大学きまでの過学時間が月辺の分と上 「○3で東から大学きまでの過学時間が月辺の分と中 「○3で東から大学きまでの過学時間が月辺の分と中 「○3で東から大学を対した場合、学業をは、「○3で東かはしますのような。 「○3で東から上 「○3で東から上 「○3で東から上 「○3で東から上 「○3で東から上 「○3で東から上 「○3で東から大学を中 「○3で東から上 「○3で東から大学を中 「○3で東から過ぎが日間	評別 が毎月まれる悪件は、次のとおりです。あなたが該当するもの全でを選 認道とい場合は、自和選手(またはこれに乗する)]を選択し直してくださ (後生)は特待者いずれもの住所)から大学等までの選手開館が片道120分以上 表から大学等までの選手関節が片道120分以上 表から大学等までの選手関節が片道120分以上 表から大学等までの選手関節が片道120分以上 表から大学等までの選手関節が片道120分以上 表から大学等までの選手関節が片道120分以上 表から大学等までの選手関節が片道120分以上 表から大学等までの選手関節が片道120分以上 表から大学等までの選手関節が片道120分は大ない の場合と指数が15所遺伝が15 本以下 の場合と関係が15 本以下 の場合を関係が15 本以下 の場合と関係が15 本以下 の場合と関係が15 本以下 の場合と関係が15 本以下 のの場合が生じる の支険が生じる の支険が生じない を対してください。 (単しる) と答えた人は、支援が生じる連由を以下に記入してください。 (単しる) と答えた人は、支援が生じる連由を以下に記入してください。 (単位) となるあなたの現住所を入力してください。 (単位) となる事がが選集し ないように大力が必要には「他が対しているが、とないように大力の必要はおりまでは、日本的なは「日本のように大きがないように大力の必要はおりまでは、日本のようによりました。 (1 日本のようにより、日本のようにより、日本のようにより、日本のまが生からまでは、日本のまが上によりました。) カルナー となりまで人のようにより、日本のようによりました。 カルナー ものように表している。 カルナー ものように表しているのように表している。 「日本のようによりました。」 「現実を金の月り」となります(人学年度によりました。) 「現実を金の月り」となります(人学年度によりました)。 「現まりましたが、まれ、日本のように表している」の11イーンでを参加しているのように表している。 「カルナー・マージを参加してください。」 「日本のように表しているのように表しているのように表しました。」 「現実を金の月り」となります(人学年度によりました)。 「本のように表している」」 「本のように表している」」 「本のように表している」」 「本のように表している」 「本のように表している」」 「本のように表している」」 「本のように表している」」 「本のように表している」」 「本のように表している」」 「本のように表している」」 「本のように表している」」 「本のように表している」 「本のように表している」」 「本のように表している」」 「本のように表している」 「本のように表している」」 「本のように表している」 「本のように表している」」 「本のように表している」 「本のように表している」」 「本のように表している」 「本のように表している。」 「本のように表している。」 「本のように表している。」 「本のように表している。」 「本のように表している。」 「本のように表している。」 「本のよ
(小) で求 (主計権持事しずれもの住所) から大学等までの通学配施が対面60キロメートル以上	2 (生計株持者いずれもの住所) から大学等までの通学距離が片道の4-ロメール以上
□ ①表家 (生計権持続いずれもの住所) から大学等までの選挙師整が計造80キロメー (○生家から大学等までの選挙を開か計造120分以上 (○生家から大学等までの選挙等が計算の当大月以上 (○生家から大学等までの選挙等が計算の当大月以上 (○主家から大学等までの選挙等が計算の当大月以及に下 (○その他やしを得ない特別な事情により、学業との関連で、史家からの選挙が困難 (こか以用 (校 月) と記で「⑤その他やしを得ない特別な事情により、学業との関連で、史家からの選挙が困難 (こか以用 (校 月) と言えた人は、実家から選挙した場合は2023年1月時度 (二次以用 (校 月) と言えた人は、実家から選挙した場合は2023年1月時度 (二次以用 (校 月) と言えた人は、実家から通子とおしてください。 (○実 方が生じる ○実 方が生 (本 大) (市学) には (事 方) ・	以上上 家から大学等との通学育所が片道120分以上 家から大学等との通学育数月17日以上 家から大学等との通学育数月17日以上 家から大学等との通学育数月17日以上 のと対した。 のと関係をいる例と事情により、学業との関連で、実家からの通学が困難 となんは、実家から通学した場合、学業継続に支援が生じますか。 の支障が生じる「○支障が生じない の支障が生じる「○支障が生じない ・ 「倒在力でおけ、大力の心理やした場合」と2023年4月時間、(二次月用(税)で の支障が生じる「○支障が生じない ・ 「受害者た人は、支持が生じる理由を以下に記入してください。 ・ 「銀ケ音を単位、特別な事情により、学業との関連で、実家から通学が困難 となるあなたの現住所を入力してください。 ・ 「銀ケ音を単位、学校の通学した場合」と2023年4月時間、(二次月内、発行している)とはある。ことにおいてに形を入力してください。 ・ 「銀ケ音を単位、学校の通学した場合」と2023年4月時間、(二次月内、発行している)とはある。ことにおいてに形を入力してください。 ・ 「銀ケ音を単位、大力した人の主では、大力した人のでは、一般で表別してください。」 ・ 「日本人」と表示されます。 ・ 「日本人」」と表示されます。 ・ 「日本人」)と表示されます。 ・ 「日本人」)と表示され
トル以上	以上上
□ ② 実	素から大学等での通学等が月1万円以上 かけった では、
公主通報の選行本数が目前間当たり1本以下 である場合 である場合 である場合 である場合 で表えた人は、実家からの通学が困難 である場合 ご次用が生じる 学業権法・支援が生じますか。 ○支障が生じな 文を高大人は、実家からの通学が困難 と答えた人は、実家からの通学が困難 と答えた人は、実家からの通学が困難 と表えた人は、実家からの通学が困難 と表えた人は、実家からの通学が困難 と表えた人は、実際が生じる と答えた人は、支際が生じる で表えた人は、支際が生じる で表えた人は、支際が生じる で表えた人は、支際が生じる で表えた人は、支際が生じる で表えた人は、支際が生じる で表えた人は、支際が生じる で表えた人は、支際が生じる で表えた人は、支際が生じる で表えた人は、大きない で表えた人は で表えた人は、大きない で表えた人は で表えない で表えたんない で表えない	 定無機関の運行本数が1時間当たリ1本以下
である場合 上記で「⑤その他やむを得ない特別な事情により、学業との関連で、実家からの通学が困難 」と答えた人は、実家から通学した場合、学業継続に支障が生じますか。 ○支際が生じる〇支房が生じない 上記で「支険が生じる」と答えた人は、支強が生じる理由を以下に記入してください。 「主ない」を表示されますので、みを生いの「生所を入力してくだい。 「無の番号)、伴身数学」 「自宅外通学」となるあなたの現住所を入力してください。 「無の番号)、伴身数学」 「自宅外通学」となるあなたの現住所を入力してください。 「無の番号)、伴身数学」 「自宅外通学」となるあなたの現住所を入力してください。 「無の番号)、伴身数学」 「自宅外通学」となるあなたの現住所を入力してください。 「無の番号)、伴身数学」 「自宅外通学」となるあなたの現住所を入力してください。 「無の番号)、伴身数学」 「自宅外通学」を移動する。 「おなたが在学する学りません。 「会社が経済の文学」 「自宅外通学を給付額情報 「まっ世級学金を希望する人は次のことに答えてください。 「おなたの布望する月額を1つ選択してください。 「おなたの布望する月額を1つ選択してください。 「おなたの布望する月額を1つ選択してください。 「おなたの布望する月額を1つ選択してください。 「おなたの希望する月額を1つ選択してください。 「おなたの布望する月額を1つ選択してください。 「おなたの布望する月額を10選択してください。 「おなたの布望する月額を10選択してください。 「おなたの布望する月額を10選択してください。 「おなたの方に、用食与の家計基を表演してくいたが、用食らの家計基を表演してくいたが、用食らの家計基を表演してくいたが、日本の中観 「本の方に、用食らの家計基を表演してくいたが、日本の方に、用食らの家計基を表演してくいたが、日本の方に、用食らの家計基を表演してくいたが、日本の月額 「本の方に、用食らの家計基を表演してくいたが、日本の月額 「本の方に、用食らの家計基を表演してくいたが、日本の月額 「本の方に、用食らの家計基を表演してくいたが、日本の月額 「本の方に、用食らの家計基を表演してくいたが、日本の月額 「本の方に、日本の月前はこの23年(保証人の月前 「本の方に、日本の月前によりません)」となります(人を表別でも、日本月を必要が高していたさい。 「金美術学の場合でも、自宅月を選択することができます(人を表別でしたりません)」	かる場合 かその他やむを得ない特別な事情により、学業との関連で、実家からの通学が困難 た人は、実家から通学した場合、学業総成は支障が生じますか。 ○支障が生じる○支障が生じない 性じる」と答えた人は、支障が生じる理由を以下に記入してください。 (学性の)と答えた人は、支障が生じる理由を以下に記入してください。 (学性の)と答えた人は、支障が生じる理由を以下に記入してください。 (学性の)と答えた人は、支障が生じる理由を以下に記入してください。 (学性の)と答えた人は、支障が生じる理由を以下に記入してください。 (学性の)と答えた人は、支障が生じる理由を以下に記入してください。 (学性の)と答えた人は、支障が生じる理由を以下に記入してください。 (学性の)と答えた人は、支障が生じる理由を以下に記入してください。 (学性の)と答えた人は、支障が生じる理由を以下に記入してください。 (学性の)となるあなたの現住所を入力してください。 (学体の)とないます。 (学体の)とないを持定してください。 (学体の)とないを対してください。 (学体の)とないを対してください。 (学体の)とないを対してください。 (学体の)とないを対してください。 (事性の)とないます。 大学年度によって、適用される資与月額が関なりません。 大学年度によって、適用される資与月額が関なりません。 大学者(2018年4月以降の入学年月を入力した人)の貸与月額0 大学者(2018年4月以降の入学年月を入力した人)の貸与月額0 大学第2018年4月以降の入学年月を入力した人)の貸与月額0 大学第2018年4月以降の入学年月を入力した人)の貸与月額0 大学第2018年4月以降の入学年月を入力した人)の貸与月額0 「およりません)といることが多まず。 「およりません)といることが多まず。 「およりません)といる言とが変きなりにしてください。 日本とよりません)となります。 「およりません)といるできまず (入学年度によりません)。 日本外書学のの資料が記さりまれないの月報から遊れしてください。 日本外書学のの資料が記さりまれないの月報から遊れしていることが次等す。 「およりません)といるできまず (入学年度によりません)。 「およりません)といるできまで (入学年度によりません)。 日本の意思を知ら通知の場合でも、自宅月額を選択してください。 日本の意思を知ら記述していることが変きる 日本外書をの高月類がよりません)と、 日本の意思を知ら記述していることが表した場合のの意となら違うを受けられる月報でする 日本外書をのよりまれないの月類から遊れしていることが、ままりによりません)。 「およりません)・ 「およりで
上記で「⑤その他やむを得ない特別な事情により、学業との関連で、実家から通導が困難 」と答えた人は、実家から通学した場合、学業継続に支障が生じますが。 ②支障が生じる ○支障が生じない。 ②支障が生じる ○支障が生じない。 ※設置する意味が上れページ等で住所、 上記で「支障が生じる」と答えた人は、支障が生じる理由を以下に記入してください。 上記で「支障が生じる」と答えた人は、支障が生じる理由を以下に記入してください。 「自宅外通学」となるあなたの現住所を入力してください。 (都受番号) (学角数字) 住所 1 (自動入力) 住所 2 (番地以降盆角文字) ② (都世以降盆角文字) ② (本門といる事なが確認大学等 (後付度学金条度) ではない場合、「あなたが在学する判しません。 ② (本門といる事なが確認大学等 (後付度学金条度) がないように入力の必要はよりません。 ③ 一選学金倉与額情報 貴方奨学金含の寿金望する方は、入力の必要はありません。 ③ 一選学金倉与額情報 第 一選学金倉与額情報 第 一選学金倉与額を記してください。 (1) あなたの希望する月飯を1つ選択してください。 (1) あなたの希望する月飯を1つ選択してください。 (2018年度以降入学者(2018年4月以降の入学年月を入力した人)の貸与月額 大学 第 「原本学校 (専門課程) 国・公立 私立 国・公立 私立 国・公立 私立 国・公立 私立 国・公立 私立 国・公立 私立 コミック・アンリストから希望する月飯を選択してください。 2018年度以降入学者(2018年4月以降の入学年月を入力した人)の貸与月額 大学 第 「原本学校 (専門課程) 本 「日宅外 日宅 日宅外 日宅 日宅の 日宅 日宅外 日宅 日宅外 日宅 日宅外 日宅 日宅の 第 日宅	のその他やも名様ない特別な事情により、学業との関連で、実家からの通学が国業 た人は、実家から通学した場合、学業継続に支険が生じまい。 ②支障が生じる○支障が生じない 生じる」と答えた人は、支房が生じる理由を以下に記入してください。 ②支障が生じる○支障が生じない 生じる」と答えた人は、支房が生じる理由を以下に記入してください。 ※優番号入力ルに、変に表すると、1 に所検索」・ポッシを押すと となるあなたの現住所を入力してください。 (多便番号) (半角数字) 【 (自動入力) ② (番地以降放角文字) 「 (自動入力) ② (本地は高) (本の対しな人が必要する号を受ける月間を選択してください。 「 (自動入力) ② (本地は高) (本の対しな人が変にありますとしている字数が必要にあります。 (地は、10月のより、10月の表がの表が上している字を対している字を対します。 (地は、10月の表がの表が上している字を対します。 (地は、10月の表がの表が上している字を対します。 (地は、10月の表がの表が上に、10月の表がの表が上に、10月の表がの表が上に、10月の表がの表が上に、10月の表がの表が上に、10月の表がの表が上に、10月の表が表が上に、10月の表が表が上に、10月の表が表が上に、10月の表が表が上に、10月の表が表が上に、10月の表が表が上に、10月の表が表が上に、10月の表が表が上に、10月の表が表が上に、10月の表がと、10月の表が上の表が上の表が上の表が上の表が上の表が上の表が上の表が上の表が上の表が上
●支援が生じる ○支除が生じない ・ 郵便番号を郵便局所・	●支障が生じる ○支障が生じる いまた は い に の で は で は い に で は い に の で は い に の で は い に の で は い に の で は い に の で は い に の で は い に の で は い に の で は い に の で は い に の で は い に の で は い に の で は い に の で は い に の で は い に の で は い に い に の で は い に い に の で は い に い に の で は い に い に の で は い に い に の で は い に い に の で は い に い に の で は い に い に い に い に い に い に い に い に い に い
上記で「支際が生じる」と答えた人は、支陸が生じる理由を以下に記入してください。 郵便番号入力後に「住所検索」 ボウンを押き、 入上・ 「日本外連学」となるあなたの現住所を入力してください。 「日本外連学」となるあなたの現住所を入力してください。 「毎年外連学」となるあなたの現住所を入力してください。 「毎年 (信地以降) (は、「格力してください。 「日本外連学」となるあなたの現住所を入力してください。 「日本外連学 (信が入力) 世界 (信報) (は、「格力してください。 「日本外連学 (信が入力) 世界 (信報) (は、「格力してください。 「日本外連学 (信が大力) 世界 (日本の大力) 日本の大力の必要はありません。 「日本の大力の必要はありません。 「日本の大力の必要はありません。 「日本の大力の必要はありません。 「日本の大力の必要はありません。 「日本の大力の必要はありません。 「日本の大力の表現を引起されます。 「日本の大力の発生である。」 「日本の大力の発生である。」 「日本の大力の発生である。」 「日本の大力の発生である。」 「日本の大力の表現を測してください。 「日本の大力の発生である。」 「日本の大力の発生を測してください。」 「日本の大力の発生を測してください。」 「日本のよりません)。 日本の大力のよりません)。 「日本外通学の場合でも、自宅月を連携することができます (入ましているません)。 「日本外通学の場合でも、自宅月を連携することができます (入ましているません)。 「日本外通学の場合でも、自宅月を連携することができます (入ましているません)。 「日本外通学の場合でも、自宅月を連携することができます (入ましているません)。 「日本外通学の場合でも、自宅月を連携することができます (入ましているましているましているましているましているましているましているましている	理じる」と答えた人は、支障が生じる理由を以下に記入してください。
日宅外通学 となるあなたの現住所を入力してください。	上の主義を表示されますので、お仕まいの住所を表現してください。 日本の上は、住所 1 で選択した住所以降を、
1 で選択した住所以降を、番地等が重接	となるあなたの現住所を入力してください。 (郵便番号) (半角数字)
(郵便番号) (半角数字)	(郵便番号) (半角数字)
住所 1 (自動入力) 住所 2 (番地以降強角文字) 3 - 奨学金給付額情報 貸与奨学金のみ希望する方は、入力の必要はありません。 5 - 奨学金貸与額情報 第 - 奨学金管与額情報 第 - 奨学金管与額情報 第 - 奨学金管与額情報 第 - 選手金管する人は次のことに答えてください。 (1) あなたの希望する月額を1つ選択してください。 (1) あなたの希望する月額を1つ選択してください。 (2018年度以降入学者(2018年4月以降の入学年月を入力した人)の貸与月額 区分 大学 短期大学・専修学校(専門課程) 国・公立 国・公立 国・公立 国・公立 国・公立 国・公立 国・公立 国・公立	2 (番地以降独角文字) (
(由所 2 (番地以降放角文字) (本) 一	2 (番地以降経角文字) (本力) ではない場合。 あなたが在学する学校は、
### 19	対象情報
(1) あなたの希望する方は、入力の必要はありません。 5) - 奨学金貸与額情報 (1) あなたの希望する人は次のことに答えてください。 (1) あなたの希望する月額を1つ選択してください。 (1) あなたの希望する月額を1つ選択してください。 (1) あなたの希望する月額を1つ選択してください。 (1) 上	5名間報 大学年度によって、適用される貸与月額が異なります。 大学年度によって、適用される貸与月額が異なります。 また、専修学校 (専門課程) のうち、独立市 変換を 変換であるできます。 また、専修学校 (専門課程) のうち、独立市 変換によりない方独立行政法人が設置する専修学校は 「国・公立」 の月額が適用されます。
5) - 奨学金貸与額情報 第一種奨学金を希望する人は次のことに答えてください。 (1) あなたの希望する月額を1つ選択してください。 (1) あなたの希望する月額を1つ選択してください。 (1) 本 2018年度以降入学者(2018年4月以降の入学年月を入力した人)の貸与月額 区分 大学	大学年度によって、適用される資与月額が異なります。また、専修学校(専門課程)のうち、独立行政法人及び地方独立行政法人が設置する事修 を希望する月額を1つ選択してください。 権入学者(2018年4月以降の入学年月を入力した人)の貸与月額 大学 短期大学・専修学校(専門課程) 国・公立 私立 自宅 自宅外 自宅 自宅外 自宅 自宅外 自宅 自宅外 カカナー 5万1千円 5万1千円 5万1千円 5万3千円 5万1千円 5万3千円 6万円 5万円 4万円
(1) あなたの希望する月額を1つ選択してください。 (1) 本なたの希望する月額を1つ選択してください。 (1) 本なたの希望する月額を1つ選択してください。 (1) 本なたの希望する月額を1つ選択してください。 (1) 本なたの希望する月額を1つ選択してください。 (1) 本なたの希望する月額を1つ選択してください。 (1) 本なたの希望する月額を選択してください。 (2018年度以降入学者(2018年4月以降の入学年月を入力した人)の貸与月額 区分 大学 短期大学・専修学校(専門課程) 国・公立 私立 国・公立 私立 日宅外 自宅 自宅外 自宅 自宅外 自宅 自宅外 日宅 自宅外 日宅 自宅外 日宅 自宅外 日宅 日宅外 日本	接入学者(2018年4月以降の入学年月を入力した人)の貸与月額
(1) あなたの希望する月額を1つ選択してください。	希望する月額を1つ選択してください。
2018年度以降入学者(2018年4月以降の入学年月を入力した人)の貸与月額 大学 短期大学・専修学校(専門課程) 日宅 日宅外 日宅 日宅外 日宅かり 日宅外	#A 大学 (2018年4月以降の入学年月を入力した人)の貸与月額] 大学 短期大学・専修学校 (専門課程) 国・公立 私立 国・公立 私立 国・公立 私立 国・公立 私立 国・公立 私立 国宅外 自宅 自宅外 自宅 自宅外 自宅 自宅外 自宅 自宅外 自宅 自宅外 自宅 自宅外 日宅 自宅外 日宅 自宅外 日宅 日宅外 日で 日本
反分 大学 短期大学・専修学校 (専門課程) 国・公立 私立 国・公立 国・公立 国・公立 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日	大学 短期大学・専修学校(専門課程) 国・公立 私立 国・公立 日・公立 日
国・公立 私立 国・公立 私立 国・公立 私立 国・公立 私立 国宅外 自宅 自宅外 日宅 自宅外 日宅 自宅外 日宅 日宅外 日本	国・公立 私立 国・公立 私立 国・公立 私立 日宅外 自宅 自宅外 日宅 自宅外 日宅 自宅外 日宅 日宅外 日宅 日宅外 日宅 日宅外 日宅 日宅外 日本
日額 自宅 自宅外 自宅 自宅外 自宅 自宅外 自宅 自宅外 自宅 自宅外 日宅 自宅外 日宅 日宅外 日宅外	自宅 自宅外 自宅 自宅外 自宅 自宅外 自宅 自宅外 目宅 自宅外 日宅 日宅外 日宅 日宅外 日宅 日宅外 日宅外 日宅 日宅外 日で 日本
最高月額 4万5千円 5万1千円 5万4千円 6万4千円 4万5千円 5万1千円 5万3千円 6万円 5万円 5万円 5万円 5万円 5万円 5万円 5万円 5万円 5万円 5	万5千円 5万1千円 5万4千円 6万4千円 4万5千円 5万1千円 5万3千円 6万円 5万1千円 5万1千円 5万1千円 5万1千円 5万3千円 6万円 5万円 5万円 5万円 5万円 5万円 5万円 5万円 5万円 5万円 5
最高月額 4万5千円 5万1千円 5万4千円 6万4千円 4万5千円 5万1千円 5万3千円 6万円 5万円 5万円 5万円 5万円 5万円 5万円 5万円 5万円 5万円 5	5万十円 5万十円 5万十円 5万十円 5万十円 5万十円 5万十円 5万十円
最高月額 以外の月額 3万円 4万円 4万円 4万円 4万円 4万円 4万円 4万円 4万円 4万円 4	4万円 2万円 2万円 <t< td=""></t<>
以外の月額 3万円	西田 3万円
3万円	万円 3万円 3万円 3万円 3万円 3万円 3万円 3万円 3万円 3万円 3
2万円	万円 2万円 2万円 2万円 2万円 2万円 2万円 2万円 2万円 2万円 2
自宅外通学の場合でも、自宅月を選択することができます (入) ⇒ 最高月額を選択した人は、以下の質問に答えてください。 貸与月額○○円は一定の条件を満たした場合のみ貸与を受けられる月額です。	自宅外通学の場合でも、自宅月額を選択することができます (入学年度によりません)。 四は一定の条件を満たした場合のみ貸与を受けられる月額です。 なかった場合に希望する月額を選択してください。 □ は に は いません に を は に は いません に を は に は いません に を は な かった場合に を は な かった場合に を は な かった場合に を は は な かった場合に を は な かった 場合に を は な かった は な かった は な かった 場合に を は な かった は な な かった は な かった は な かった は な な な な な な な な な な な な な な な な な な
⇒ 最高月額を選択した人は、以下の質問に答えてください。	択した人は、以下の質問に答えてください。 円は一定の条件を満たした場合のみ貸与を受けられる月額です。 なかった場合に希望する月額を選択してください。 最高月額が認められなかった場合に希望する 月額を上表の最高月額以外の月額から選択し
見方見妬が到りましたか、4 担人に参加する	なかった場合に希望する月額を選択してください。 最高月額が認められなかった場合に希望する 月額を上表の最高月額以外の月額から選択し
タルナ洪ナンナル・ナリヘにメロナフロ妬ナ選切しマノがと・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	月額を上表の最高月額以外の月額から選択し

→ 【2017年度以前入学者(2018年3月以前の入学年月を入力した人)の貸与月額】

	大	学		短期	大学・専修	学校(専門語	果程)
国・	公立	私	<u>\pi</u>	国•	公立	私	<u> </u>
自宅	自宅外	自宅	自宅外	自宅	自宅外	自宅	自宅外
4万5千円	5万1千円	5万4千円	6万4千円	4万5千円	5万1千円	5万3千円	6万円
	37.	5 円			37.	5 円	

(2) あなたの希望する返還方式を選択してください。 ◀

(注) 所得連動返還方式を希望する場合、保証制度は「機関保証」になります。

2 ○所得連動返還方式 ○定額返還方式

(3) 第一種奨学金の再貸与を希望しますか。

入学年度(入力した入学年月)に

より

選択できる月額

が異

へなり

ます

3 ○はい○いいえ

「はい」と答えた人はこれまでに今回申込みと同一学種で貸与を受けた第一種<mark>奨学金の奨</mark>学生番号を記入してください。

奨学生番号 (半角数字)

7

第一種奨学金の再貸与を希望する人は、再貸与の制度を確認し、同意する場合のみ、申込みを行ってください。

(注) 制度等を確認するまで、次の画面に進むことはできません。

再貸与の制度を表示

| 同意します

(4) あなたは「地方創生枠推薦者」ですか。 ◀

(4) ○はい ○いいえ

「はい」と答えた人は、推薦者決定に際して、基金設置団体から奨学金申込時に入力するよう指示された番号を入力してください。 (半角数字)

6万円

12万円

2. 第二種奨学金を希望する人は次のことに答えてください。

4万円

10万円

(1) あなたの希望する月額を1つ選択してください。

3万円

9万円

2万円

8万円

(1)

7万円

(2) あなたは私立大学の医学・歯学・薬学・獣医学課程に在学していますか。

5万円

11万円

2 ○はい○いいえ

 $\overline{}$

はい」と答えた人でかつ12万円の月額を選択した人のみ増額月額を希望することができます。

あなたは(医・歯は4万円増、薬・獣医は2万円増)を希望しますか。

(3) ○4万円 ○2万円 ○希望しない

※貸与月額について確認してください。

あなたは、併用貸与を希望しています。併用貸与を受けると貸与総額及び毎月の返還額が多額 となります。

この申込手続終了後、貸与月額が適切であるか再度確認してください。

なお、第二種奨学金の最高月額を選択した場合は、**「家庭事情情報」欄**に第二種奨学金の最高 月額を必要とする「理由」をご記入いただくことになります。

ご記入いただいた「理由」については、学校担当者から確認等を行う場合があります。

○はい ○いいえ

- (4) あなたは何月分から貸与を希望しますか。
 - (注) 奨学生採用後は貸与始期の変更はできません。

(4) 西暦(半角数字4桁)

年

- 3. 入学時特別増額貸与奨学金を希望する人のみ答えてください。
 - (1) あなたは入学時特別増額貸与奨学金を希望しますか。

1年次に入学した人および編入学の人のみ希望することができます。

(1) ○はい ○いいえ

(2) ほい」と答えた人は、希望する額を選択してください。

(2) 〇10万円 〇20万円 〇30万円 〇40万円 〇50万円

- 4. 第二種奨学金または入学時特別増額貸与奨学金を希望する人は答えてください。
 - (1) あなたの希望する利率の算定方法を選択してください。

(1) ○利率固定方式 ○利率見直し方式

第一種奨学金を希望する人は、返還方式を選択できます。「奨学金案内」18ページを確認のうえ、どちらかを選択してください。

2017年度以前入学者は、最高月額の選択の制

限はありません。

過去に同じ学種で第一種奨学金を受けたこと がある人は「はい|を選択してください。

第一種奨学金の再貸与制度とは?

過去に第一種奨学金の貸与を受けた人が、同 じ学種(大学、短期大学、専修学校等)で再 度新たに第一種奨学金の貸与を受けることが できる制度です。詳しくは「奨学金案内」の15 ページを参照してください。

⑤一奨学金貸与額情報 直上の (3)で「はい」 と答えた人に表示されます。

「地方創生枠推薦者」とは、地方公共団体と地元産業界が協力し、将来の地域産業の担い手となる学生等を応援する取組みとして、基金設置した地方公共団体(基金設置団体)から推薦された人です。各都道府県において100名を上限として推薦されています。基金設置団体から「地方創生枠」としての推薦を受けていない人は、「いいえ」を選択して次に進んでください。

プルダウンリストから希望する月額を選択してください。

(2) (3) は医・歯・薬・獣医学の増額に関する入力項目です。

併用貸与を希望した人に表示されます。

併用貸与については、「奨学金案内」6ページを参照してください。

併用貸与を希望し、第二種奨学金で最高月額 を選択した人に表示されます。

併用貸与を希望した人は、貸与月額が適切であることを確認後、「はい」を選択してください。

一次採用(春)に申し込む人は、**2023年4~**

【注意】

「4月」選択が原則ですが、2023年4月~ 2023年9月のいずれかを選択することも可能 です。

入学時特別増額貸与奨学金は、入学した学校に おいて1回しか受けることができません。そ

のため、すでに入学時に入学時特別増額貸与 奨学金の貸与を受けたことがある場合は、 「いいえ」を選んでください。

編入学の人が編入学時に入学時特別増額貸与 奨学金を希望する場合は「いいえ」を選択し て学校へ申し出てください。

なお、入学時特別増額貸与奨学金は、「国の教育ローン」を利用できない人を対象としており、第二種奨学金と同様に有利子です。 「奨学金案内」7ページも参照してください。

返還時の利率の算定方法を選択する項目です。 詳しくは「奨学金案内」16ページを参照して ください。

STEP4 ⑥-あなたの履歴情報 1. あなたの最終学歴を記入してください。 直近に卒業または退学した学校の年月及び学 ▼ 卒業または退学 1. 西暦(半角数字4桁) 年 校を選択してください。 2. あなたは国内の高等学校(本科)を卒業しましたか。 ※ここでいう「高等学校」には、国内の中等教育学校の後期課程、特別支援学校の高等部 高等専門学校(第1学年から第3学年まで)又は専修学校の高等課程(修業年限が3年 以上のもの)を含みます。(インターナショナルスクールや在外教育施設等は含みませ ※現在、高等専門学校の第1学年から第3学年まで在学中の場合は入力不要です。 ○はい ○いいえ 高等学校卒業後に専修学校高等課程などに進 学・卒業した場合、「あなたがはじめて国内の高 等学校を卒業した年月」は専修学校高等課程 「はい」と答えた人にお聞きします。 ではなく高等学校の卒業年月を入力してくだ あなたがはじめて国内の高等学校を卒業した年月を記入してください さい。 西暦(半角数字4桁) 年 「いいえ」と答えた人にお聞きします。 あなたが現在通っている学校への入学前の履歴は次のうちどちらになりますか。 高等専門学校を卒業した場合、第3学年修了年 月を入力してください(高等課程2年間を含ま ○高等学校卒業程度認定試験合格者 ない年月を入力してください)。 ○その他 (インターナショナルスクール、在外教育施設等) (例) 高等専門学校(高等課程)を2023年3月に卒業 「高等学校卒業程度認定試験合格者」と答えた人にお聞きします。 ⇒高等学校を卒業した年月は2021年3月 あなたは高等学校卒業程度認定試験にいつ合格しましたか。 西暦(半角数字4桁) 「5年を経過した後も毎年度高等学校卒業程度 認定試験を受験していた」とは、下記のよう あなたは、高等学校卒業程度認定試験の受験資格を取得した年度(16歳になる年度) な場合が該当します。 から高等学校卒業程度認定試験合格者となった年度まで5年を経過していますが、5年 (例) を経過した後も毎年度高等学校卒業程度認定試験を受験していましたか。 ・16歳になる年度:2014年度 ○はい ○いいえ ・16歳になる年度から5年経過 ⇒ 2019年4月1日以降 ・2019年度、2020年度に高等 学校卒業程度認定試験受験 (不合格) 「その他」と答えた人にお聞きします。 ・2021年度に高等学校卒業程度 あなたが卒業又は修了した「その他」の学校名(正式名称)とその学校を卒業又は修了した 認定試驗受驗(合格) 年月を記入してください。 西暦(半角数字4桁) 年 ②-奨学金申込情報 で入力した奨学生番号以 外に、日本学生支援機構の給付奨学金又は貸 ハに、ロギチェンな破構の配り奨チェスに負 手奨学金を受けている、あるいは受けたこと がある場合は、設問にて「はい」を選択のう え、その奨学生番号を全て入力してください。 ②一奨学金申込情報 で入力した奨学生番号以 3 【給付】あなたはこれまでに、日本学生支援機構の給付奨学金(原則、返還不要)を受けてい ますか。 (現在支給が終了しているものを含む) ○はい ○いいえ 外に奨学金を受けたことがない場合は、設問で「いいえ」を選択してください。 【貸与】あなたはこれまでに、「②-奨学金申込情報」で入力した他に日本学生支援機構の貸与奨学金(第一種・第二種) 原則、要返還)を受けていますか。現在貸与が終了しているものを含む) ○はい ○いいえ なお、採用取消となったものは入力しないで ください。 ものを含む) 高校在学中に、都道府県等(日本学生支援機 構及び日本育英会以外)から奨学金の貸与を 受けていた人は、「いいえ」を選んでください。 高等学校及び専修学校高等課程の奨学金は、 上のいずれかの設問で「はい」を選択した人は、その奨学生番号を記入してください。 平成17年度入学者より、日本学生支援機構か ※第一種奨学金を利用している人が給付奨学金を受給する場合は、貸与額が調整されます。 ら各都道府県に移管されました。 ※貸与・給付を受けた奨学金が複数ある場合は、「追加」ボタンを押して、すべての奨学生番 号を記入してください。 ※奨学生番号の記入を取り消す場合は、「削除」ボタンを押してください。 ② - 奨学金申込情報 で入力した奨学生番号は 入力しないでください。奨学生番号が複数あ lacksquare削除追加 奨学生番号 1 る場合は「追加」ボタンを押してすべての奨 学生番号を記入してください。記入を取り消 す場合は「削除」ボタンを押してください。 半角数字 例 奨学生番号 1 611 04 削除 奨学生番号 618 08 $\overline{\mathbf{v}}$ 999999 削除 追加 **奨学生番号** 809 01 \checkmark 999999 削除 追加

※第二種奨学金の貸与について確認してください。

奨学生番号

奨学生番号

あなたは、これまでに同一の学校区分で2回以上、第二種奨学金の貸与を受けています。 日本学生支援機構の規程により、これ以上第二種奨学金を申し込むことができない場合や 借りられる期間が制限される場合があります。 □ 確認しました

814

02

同一の学校区分(大学・短期大学・専修学校 等)で2回以上第二種奨学金の貸与を受けている人に表示されます。

999999

削除

追加

STEP5 ⑦ – 保証制度		
1. あなたが希望する保証制度を選択してください。 ○ (1) 機関保証 ※機関保証制度は、連帯保証人や保証人の選任が不要です(一定の保証料が毎)	【注意】 人的保証選択者は採用決定後の返還誓編書提出時に保証を断られることがないように	
かれます)。 □ 制度の内容について承知し、機関保証を選択します。	保証人・連帯保証人に事前に了承を得てく	(
○ (2) 人的保証	ださい。保証制度(人的保証・機関保証)の 選択は、スカラネット入力後の変更は原則で	
※人的保証制度は、選任する連帯保証人や保証人に事前に 了解をとっておく必 □ 制度の内容について承知し、人的保証を選択します。	要があります。 きませんのでご注意ください。	Ī
併願又は併用で申し込み(STEP3 画面にて、次の選択肢を選択した場合)、 ◆		
(2) 第1希望:第一種奨学金 第2希望:第二種奨学金 (4) 第1希望:第一種奨学金と第二種奨学金(併用) 5 第1希望:第一種奨学金と第二種奨学金(併用) 第2希望:第一種奨学金 6 第1希望:第一種奨学金と第二種奨学金(併用) 第2希望:第一種奨学金 7 第1希望:第一種奨学金と第二種奨学金(併用) 第2希望:第一種奨学金 かつ第一種奨学金の返還方法を「所得連動返還方式」と選択した場合	3/ハーン ② - 英子立中公開報] 参照 希望:第二種奨学金	学金制度
▼ 1. 第一種奨学金についてあなたが希望する保証制度を選択してください。		
所得連動返還を希望する場合、保証制度は「機関保証」のみになります。「人的保証	所得連動方式を希望する場合、 は選択できません。 第一種奨学金の保証制度は「機関	
(1) 機関保証	保証」となります (人的保証は表示されません)。	
※機関保証制度は、連帯保証人や保証人の選任が不要です(一定の保証料が毎月の奨学金 制度の内容について承知し、機関保証を選択します。		
	MCC/Zev.	
2. 第二種奨学金についてあなたが希望する保証制度を選択してください。 ○ (1) 機関保証		
※機関保証制度は、連帯保証人や保証人の選任が不要です(一定の保証料が毎月の奨学金	から差し引かれます)。 チェックを入れないと	
制度の内容について承知し、機関保証を選択します。 ○ (2) 人的保証	次に進むことができません。	
※人的保証制度は、選任する連帯保証人や保証人に事前に了解をとっておく必要があ	ります。	
制度の内容について承知し、人的保証を選択します。 ◀	① – あなたの氏名・誓約情報で	
STEP6 8 - 貸与奨学金返還誓約書情報・給付奨学金本人等情報	入力した姓名が表示されます。	
	① - あなたの氏名・誓約情報 で入力した生年月日により判定さ	
1.あなた自身について入力してください。	れます。	
1 あなたのお名前は△△○○さんですね。	・あなたのマイナンバーを申込時	
2 あなたの性別を選択してください。(任意)	に提出できない場合や、緊急 採用・応急採用に申し込む場	
(3) あなたの生年月日は××年△△月○○日ですね。	(3) 成年判定	フ
(4) あなたの現住所を記入してください。 ※申込者本人のマイナンバーを申込時に提出できない場合は、住民票住所を入力	・郵便番号を郵便局ホームページ等で住所をもとに事前に確	ţ.
	一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一	1
(4) (郵便番号) (半角数字)	住所検索	1
住所 1(自動入力)	自動表示されますので、お住 まいの住所を選択してくださ	ŀ
住所 2(番地以降強角文字)	い。 「住所 1」 で選択した住所以降を、番地	アナ
(5) あなたの電話番号を記入してください。	等が重複しないように 入力し	F
※自宅電話番号がなければ携帯電話の電話番号で構いません。	てください。 ※ 下記の「住所の入力例」参照。	書
(5無角数字)	- 固定電話と携帯電話を両方所有している場合は、どちらとも	클
携帯電話の電話番号を記入してください。 (携帯兼角数字)	- │	書き用紙
住所の入力例		1
	─ 注意! ※番地以降を全て全角で入力してください(英数	
(郵便番号) [162] — [9999] [住所検索] ←押下	字やハイフン、スペースを含む)。入力漏れが	
注意!	あると次の画面に進めません。 ※番地以降のない住所は、住所2欄に全角で「. (ピ	
ZACICEIN SOTA SCEOVEINESIKO CYCEVO	リオド)」を入力してください。 ※住所2欄には、住所1欄の表示部分を入力しないで	貨
	ください。 上記例の場合、住所1欄で「1丁目」を選択し、	月月
住所1(自動入力) ○東京都 新宿区 市谷本村町 1丁目 ○東京都 新宿区 市谷本村町 2丁目 ◀	住所 2 欄に誤って「1丁目99-9 [*] ・・」と入力 した場合、届出内容は「1丁目1丁目99-9・・」	女
○東京都 新宿区 市谷本村町 3丁目	となります。	5
	※住所、電話番号に海外の住所等を入力することは不きません。連絡の取れる国内の住所	北
住所2(番地以降) 99-9 機構ハイツ 505 ◀	とはできません。連絡の取れる国内の住所、 電話番号の入力をしてください。	Æ

(f) その勤務先

勤務先電話番号

⑦-保証制度で「①)機関保証」を選択した人 **⑦-保証制度** にて「機関保証」を選択した 2. 本人以外の連絡先について < 場合に表示されます。 あなたは保証制度画面で「機関保証」を選択しています。あなた以外の連絡先について入力 機関保証を選択した人は、あなた (本人) 以 外の連絡先を入力する必要があります。あな たに送付する重要な書類が届かない場合等 してください。 (1) その氏名 こに入力した連絡先に、あなたの住所・ (1) 漢字(全角漢字) 電話番号を照会することがあります。 カナ (全角カナ) ※注意!「本人以外の連絡先」を入力する前に、 必ずその人の承諾を得てください。 力した「本人以外の連絡先」は採用されると返 ▼ 年 (2) 月 (2) その 4 年 月 日 日生 選誓約書に印字されます。万一、返還誓約 書に自署してもらえないと不備となり奨学 生の資格を失うことになります。 (3) あなたとの続柄 (3) $\overline{}$ (4)郵便番号)半角数字) 住所検索 ・海外の住所を入力することはできません。 (4) その住所 連絡の取れる日本国内の住所を入力してく 住所1(自動入力) 郵便番号を郵便局ホームページ等で住所を もとに事前に確認してください。 郵便番号入力後に「住所検索」ボタンを押 住所2 (番地以降)全角文字) すと、入力した郵便番号に相当する住所が 「住所1」に自動表示されますので、お住 (5) その電話番号 まいの住所を選択してください。 ※自宅電話番号がなければ携帯電話の電話番号で構いません。 「住所1」で選択した住所以降を、番 **地等が重複しないように**入力してくださ (5)半角数字) ※9ページの「住所の入力例」参照。 (携帯)半角数字) その携帯電話の電話番号 ・ 固定電話と携帯電話を両方所有している場 合は、どちらとも入力してください。 ⑦-保証制度で「②)人的保証|を選択した人 3. 連帯保証人と保証人について ◀ **⑦-保証制度** にて「人的保証」を選択した あなたは保証制度画面で「人的保証」を選択しています。連帯保証人及び保証人について入 場合に表示されます。 力してください。 連帯保証人・保証人の選任条件は必ず「奨学金 案内 1 24~26ページを確認してください。 (1) 連帯保証人について入力してください。 ・(あなた(申込者)が成年の場合)原則として、父母・兄弟姉妹又はおじ・おば等にして ください。 ・未成年者等保証能力がない人は認められません。 ・債務整理(破産等)中の人を連帯保証人に選任することは認められません。 名 (a) その氏名 (a) 漢字(全角漢字) カナ(全角カナ) (b) その生年月日 ▼ 年 (c) あなたとの関係 $\overline{}$ 未成年後見人の場合は、その続柄 (d) その住所 ・海外の住所を入力することはできません。 連絡の取れる日本国内の住所を入力してく ・連帯保証人の印鑑登録証明書(市区町村発行)に記載されている住所を入力してくだ 郵便番号を郵便局ホームページ等で住所を もとに事前に確認してください。 ※印鑑登録証明書には住民票と同じ住所が記載されています。 郵便番号入力後に「住所検索」ボタンを押 すと、入力した郵便番号に相当する住所が (d)郵便番号)半角数字) 住所検索 「住所1|に自動表示されますので、お住ま いの住所を選択してください。「住所2」には 住所1(自動入力) 「住所1」で選択した住所以降を、番地等が 住所2 (番地以降)全角文字) 重複しないように ※ 9ページの「住所の入力例」参照。 固定電話と携帯電話を両方所有している場合 (e) その電話番号 は、どちらとも入力してください。 ※自宅電話番号がなければ携帯電話の電話番号で構いません。 (e)半角数字) その携帯電話の電話番号 (携帯)半角数字)

(f)全角文字)

※連帯保証人が無職の場合は、下記にチェックを入力してください。

□無職

自営業の場合は「自営業」、農業の場合は「農

無職の場合は「その勤務先」には入力せず、 こちらにチェックを入力してください。

業1と入力してください。

スカラネット入力下書き用紙

生計維持者の考え方(奨学金案内 貸与・給付 ともにP.12)で必ずご確認ください。 (例)「父母ともにいる場合」: 生計維持者は

父母2名

※父母は無職・無収入の場合でも、生計維持者 に含めます。

11

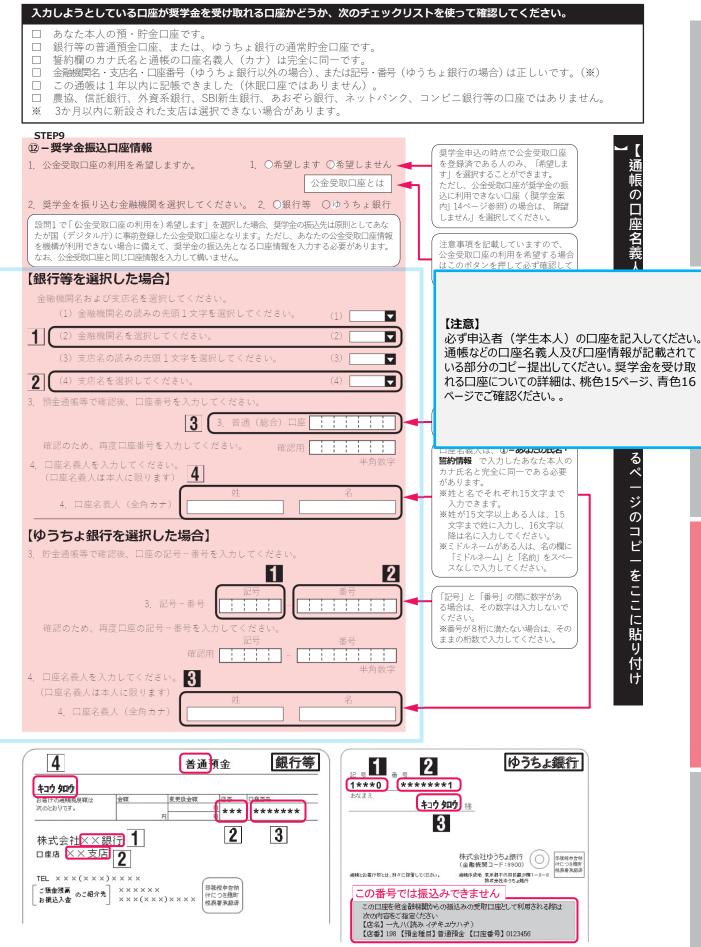
生計維持者は最大2人です。

(2) 生計維持者①(父母のいずれか、父母がいない場合は代わって生計を維持する人)	生計維持者①の入力は必須です。 定期採用の申込者は、ここで入力した人物につ いてマイナンバーを提出する必要があります。
(a) あなたとの続柄 (b) 生計維持者①の氏名 姓 名 (b) 漢字(全角漢字) カナ(全角カナ)	離婚後に父母が再婚(事実婚含む)している場合は、再婚相手も生計維持者として入力する必要があります。その際は、養子縁組の有無に関らず、再婚相手の続柄は父又は母を選択してください。
(c) 生計維持者①の住所 (c) 延伸番号無角数字) (c) 単計維持者①の住所 (c) 単位所 (c) 単位所 (c) 単位所 (c) 単位所 (c) 単位所 (c) 単位所 (c) 単位の (c) 単	■ 海外の住所を入力することはできません。 連絡の取れる日本国内の住所を入力してください。
 (d) 生計維持者①の生年月日 (e) 生計維持者①のマイナンバーを機構に提出する準備はできていますか。 (注1) 「その他」を選択した人は、提出できない事情を選択してください。 (注2) 家計審査のため、マイナンバーの提出が必要です。 	「奨学金案内」33ページの表にチェックを入れた箇所をふまえて、該当するものを全て選択してください(年額の入力は1万円未満切り捨て)。なお、緊急採用・応急採用の申込者は、家計急変後の年額(年収見込)を入力してください。
提出できない場合は、別途毎年所得証明書等の証明書類の提出が必要となります。 ○準備できている ○これから準備する ○その他	定期採用の申込者の場合 「1.」と「2.」の欄の年額欄は、自治体等からマイナンバーにより収入情報を取得するため、表示されません。 ただし、生計維持者の勤務先を2021年1月2日以降に変更している場合、マイナンバーにより正しい収入情報を取得することができませ
 (f) 所得(申込時点の状況)について、該当するものをすべて選び、年額を入力してください。 ※金額は万円単位で入力してください。(例:1,000,000円⇒100万円) 1. 給与所得 2. 商店・農業工業、個人経営 3. 失業手当 4. 生活保護費 	【注意】※いずれか1つに必ずチェックしてください 「1.給与所得」または「2.商店・農業工業、個人経営」を選んだ方 ・2021年1月1日以前から同じ勤務先 →収入金額の記入は不要です。 ・2021年1月2日以降に就職・転職・退職・開業・
	廃業 →貸与奨学金案内P34・P35記載の該当する証明書の添付が必要となります。 ※雇用形態は正社員・アルバイト・パート等問わず、 所得が発生している場合は証明書が必要となります。
 8. 祖父母等からの援助や養育費等 年額 万円 9. その他 年額 万円 10. 2021 年 1 月 1 日以前から無職 ※無職であっても他に収入が存在する場合は、上記の該当する項目を選び、年額を入力 	「3.失業手当」~「9.その他」に該当する所得がある場合、貸与奨学金案内P34・P35記載の該当する証明書の添付が必要となります。 「7.児童手当」:家族に児童(0歳から中学生)がいるよりの、またなります。
してください。 「1.給与所得」または「2.商店・農業工業、個人経営」を選んだ人は、あてはまるものを選 択してください。	る場合、支給されます(所得制限等により不支給の場合あり)。 場合あり)。 ※金額の入力と証明書添付忘れの不備が多いため、特にご注意ください。
2021年1月2日以降に就職・転職・退職・開業・廃業しましたか。 ○2021年1月1日以前から同じ勤務先(同じ業務形態で事業経営) ※生計維持者のマイナンバーから収入情報を連携しますので収入金額の入力は不要です。	「9.その他」: 公的手当等の受給者の記入欄となり ます。それ以外の所得は記入しないてください。
※主訂離行者のマイナンバーから収入情報を建携しよりのと収入並続の入力は小安とり。 ○2021 年 1 月 2 日以降に就職・転職・退職・開業・廃業	2021年を2022年に読み替えてください。
就職・転職・退職・開業・廃業後の年収(見込み)はいくらですか。 (給与明細、帳簿、年収見込証明書、離職票等の学校への提出が必要です。) ・給与所得者 給与支払金額合計 年額 万円	生計維持者の勤務先が、2021年1月1日以前から変更がない場合は上のボタンを選択、2021年1月2日以降に変更している場合は下のボタンを選択してください。 ※二次採用(秋)で奨学金を申し込む場合は、 2021年を2022年に読み替えてください。
・給与所得以外(商店・農業工業、個人経営) 所得金額合計 年額 万円 ※申込時点において、複数の勤務先または複数の事業経営があり、1つでも2021年1 月2日以降に就職・転職・退職・開業・廃業している場合はこちらに年額(見込み)を	入力の際は、二重計上することがないように注意してください。
入力してください。 ※全ての勤務先で退職・全ての事業経営で廃業しており、手当等も受給していない場合は、年額 0万円と入力してください。 ※海外勤務の場合でマイナンバーを提出できない場合もこちらに年額(見込み)を入力してください(マイナンバー提出不可に係る所定の手続きが必要です)。	生計維持者が海外勤務のためマイナンバーを提出できない場合の取扱いは、機構HP「生計維持者が海外に居住している場合」を参照してください。
※2021 年以降海外勤務期間がある方は、マイナンバーを提出した場合でもこちらに年額 (見込み)を入力してください。	海外勤務等により2022年1月1日時点で日本 国内に住民票(住民登録)がない場合が該当し ます(二次採用(秋)で奨学金を申し込む場合は、 2023年1月1日に住民票(住民登録)がない場
(g) 生計維持者①は2022年1月1日の時点で生活保護を受けていましたか。 ○はい ○いいえ (h) 生計維持者①は2022年1月1日の時点で日本国内に住んでいましたか。	合となります)。 二次採用(秋)で奨学金を申し込む場合は、
Odn Onni	2022年を2023年に読み替えてください。

(3) 生計維持者②(父、母など) (a) あなたとの続柄 (b) 生計維持者②の氏名 姓 (b) 漢字(全角漢字) カナ(全角カナ) (c) 生計維持者②の住所 (c) 運便番号無角数字) 住所 1 (自動入力) 住所 2 (番地以降強角文字) (d) 生計維持者②の生年月日 (d) ▼ (e) 生計維持者②のマイナンバーを機構に提出する準備はできてい 注1) 「その他」を選択した人は、提出できない事情を選択した注2) 家計審査のため、マイナンバーの提出が必要です。 提出できない場合は、別途毎年所得証明書等の証明書類の ○準備できている	名	34 L		貸与奨学金制度
○これから準備する○その他			定期採用の申込者の場合 [1.] と [2.] の欄の年額欄は、自治体等からマイナンバーにより収入情報を取得するため、表示	
(f) 所得 (申込時点の状況) について、該当するものをすべて選び、第 ※金額は万円単位で入力してください。 (例:1,000,000円⇒1 1. 給与所得 2. 商店・農業工業、個人経営 3. 失業手当 4. 生活保護費 ※生活保護費はマイナンバーより情報連携しますので、金額の該当する場合は、□∨のみを入力してください。 5. 傷病手当金 6. 年金 7. 児童手当・児童扶養手当・特別児童扶養手当 8. 祖父母等からの援助や養育費等 9. その他 10. 2021年1月1日以前から無職 ※無職であっても他に収入が存在する場合は、上記の該当するしてください。 「1. 給与所得」または「2. 商店・農業工業、個人経営」を選んだ人択してください。 2021年1月2日以降に就職・転職・退職・開業・廃業しましたか。 ○2021年1月1日以前から同じ勤務先(同じ業務形態で事業経営 ※生計維持者のマイナンバーから収入情報を連携しますので収力	100万円) (年額 77 (年額 77 年額 77 年級 77 日本 78 日本 7		【注意】※いずれか1つに必ずチェックしてください「1.給与所得」または「2.商店・農業工業、個と営」を選んだ方・2021年1月1日以前から同じ勤務先→収入金額の記入は不要です。・2021年1月2日以降に就職・転職・退職・開廃業→貸与奨学金案内P34・P35記載の該当す明書の添付が必要となります。 ※雇用形態は正社員・アルバイト・パート等問れ所得が発生している場合は証明書が必要となり「3.失業手当」~「9.その他」に該当する所得が場合、貸与奨学金案内P34・P35記載の該当ず証明書の添付が必要となります。 「7.児童手当」:家族に児童(0歳から中学生)がる場合、支給されます(所得制限等により不支給場合あり)。 ※金額の入力と証明書添付忘れの不備が多い特にご注意ください。 「9.その他」:公的手当等の受給者の記入欄となます。それ以外の所得は記入しないてください。	人 業 証 ずま あす がの たく
○2021年1月2日以降に就職・転職・退職・開業・廃業 就職・転職・退職・開業・廃業後の年収(見込み)はいくらです。 (給与明細、帳簿、年収見込証明書、離職票等の学校への提出が返り。 ・給与所得者 給与所得以外(商店・農業工業、個人経営)所得金額合計 ※申込時点において、複数の勤務先または複数の事業経営がある。 2日以降に就職・転職・退職・開業・廃業している場合はこれが、 力してください。 ※全ての勤務先で退職・全ての事業経営で廃業しており、手当等は 年額0万円と入力してください。 ※海外勤務の場合でマイナンバーを提出できない場合もこちらい。 してください(マイナンバー提出不可に係る所定の手続きがある。 ※2021年以降海外勤務期間がある方は、マイナンバーを提出した (見込み)を入力してください。	必要です。) 計 年額 年額 年額 のり、1つでも2021年1 ちらに年額(見込み) も受給していない場合に に年額(見込み)を入 が必要です)。 た場合でもこちらに年	を入 よ、 カ ◆		き用細質与開始~返還
	○はい ○いし	17	2023年1月1日に住民票(住民登録)がない	

 4. 家族のうち学校に在学している人に関して記入してください。 (1) 家族のうち就学者(あなたを含む)と就学前の弟妹の人数を合せて記入してください。 (2) あなたの他に学校に在学している人および小学校入学前の弟妹がいる場合は、全員記入してください。 学校設置者在学している学校通学別 続柄 	【注意】 プルダウンは以下の選択肢になっています。 ・学校設置者:国立、公立、私立 ・在学している学校:小・中・高等学校、高等専門学校、専修学校(高等課程・専門課程)、大学 (短期大学・通信制・専攻科・職業技能別科を含む)、大学院 ・通学別:自宅通学、自宅外通学
5. その他の家族(生計維持者・就学者・小学校入学前の弟妹」以外の家族)を記入してくだ	【注意】 ・就職している兄弟姉妹は家族人数には含めません。 ・祖父母は同一生計の場合、家族人数に含まれます。
さい。 (あなたを除く) 続柄	【注意】 P11の2.(1)に記入した家族人数が正しいか、下記の計算式でご確認いただき、計算が合わない場合はもう一度記入内容を見直してください。 「2.(1)家族人数」=「あなた(1人)」+「3.(1)生計維持者人数」+「4.(2)あなたの他に在学してい
⑩ -特記情報1. あなたの支払っている年間の授業料を記入してください。1. 万円	る人及び小学校入学前の弟妹人数」+「5.その他家族」
 a あなたの家庭は母子または父子家庭ですか。 a 家族の中に障害のある人(常に就床を要する介護の必要な人等を含む)がいますか。 a のはい ○いいえ 	【 注意】 1・2年生は120万円 3・4年生は130万円
「はい」と答えた人は、その人数を記入してください。 4. 主に生計を維持する人が単身赴任等で別居していますか。 「はい」と答えた人は、別居による住居・光熱・水道・家具・ 家事用品の年間の実費を記入してください。 5円	【注意】 3~6の設問に「はい」と答えた人は、貸与奨学金案内P39記載の該当する証明書の提出により、学校の認定を受け、特別控除を受けることができます。
5. あなたの家族に 6 ヶ月以上にわたり療養中の人または療養を 必要とする人がいますか。 5. ○はい ○いいえ 「はい」と答えた人は、療養のために必要な1年間の 支出金額を記入してください。 万円	※特別控除の申請は任意です。該当する証明書を提出しない方、提出できない方は特別控除対象外となりますので、「いいえ」を選択してください。 ※「4.単身赴任による別居」の必要書類や詳細は、この資料の 6ページと貸与奨学金案内P39を必すご確認ください。
6. この1年間に火災・風水害又は盗難などの被害を受けたことがありますか。 6. ○はい ○いいえ 「はい」と答えた人は、支出の増加または 支出の増加がある ○はい ○いいえ 収入の減少があるか選択してください。 収入の減少がある ○はい ○いいえ 「はい」と答えた人で、長期(2年以上)にわたって支出の増加又は収入の減少がある場合、その1年分の金 支出の増加 万円	4. 上限は71万円です(合計金額から1万円 未満切り上げ)。単身赴任先の住居・光熱 ・水道・家具・家事用品の領収書のコピー を学校に提出してください。
額を記入してください。 収入の減少 万円 7. 災害・震災に被災したことがある人で、被災した災害・震災が 選択肢の中に含まれている場合は該当のものを選択してください。 ▼	【注意】 下書きの時点では空欄(スカラネット入力時に該当
① - 家庭事情情報 1. 奨学金を希望するに至った家庭事情や、特に説明を要することを記入してください。	するものがあればプルダウンで選択してください。) 出の増加額、または収入の減少額の算出
(全角200文字以内、下の記入欄をご利用ください) 注1) 主に生計を維持する人が無職(失職)の場合には、その無職(失職)となった年月、理由、現在の生活費の出所等を具体的に記入してください。 注2) 第二進奨字金の最高月額を必要とする理由を具体的に記入してください。(学校担当者から確認等を行う場合があります) (20×10)	【注意】 100字以上埋めてください。
	家庭事情情報は、全員入力する必要があります。特に、緊急採用・応急採用の申込みをする人は、「いつ「「どういった事由で」家計急変
	したのか、事情をできるだけ詳しく入力してください。 併用貸与を希望し、第二種奨学金の最高月額を選択した場合は、最高月額を必要とする「理由」も入力してください。

注意!口座情報に誤りがあると、奨学金の初回振込が大幅に遅れることがあります。



入力後、「次へ」ボタンを押すと、STEP10 ⑫-奨学金振込口座情報確認 に進みます。口座情報に誤りがないか確認してから、「次へ」ボタンを押してください。以降は「奨学金案内」43ページを見ながら、画面の指示に従って進めてください。

1. 家計急変の事由を1つ選択	アノださい		──┤ 【注意】
	では各事由により著しく支出が増大また		このページには何も記入しないでくだ
	の補助を受けずに、本人収入のみで就与		てください。
	倒産等により解雇または早期退職した7	ため。	(L
○ (2) 生計維持者が死亡し	NATURE STATE OF THE STATE OF TH		
〇(3)生計維持者が離別し			(9) その他上記以外の事由により給与収入;
〇(4)生計維持者が破産し	たため。		減少した場合選択してください。
○ (5) 病気			
○ (6) 事故			(13) この事由により申し込む場合は被災
○ (7) 会社倒産			(罹災)証明書を学校へ提出する必要があります。
○ (8) 経営不振			
○ (9) その他生計維持者の	給与収入が激減したこと等によるため。	←	(15)この事由により申し込む場合は学校で
〇(10)火災			認定を受ける必要があります。
〇(11)風水害			
〇(12)震災			┃ ┃ 貸与始期は、家計急変事由が生じた年月(申
〇(13)災害救助法適用者で	であるため。 🚤		て遡及可)以降を選択してください。
〇 (14) 学校廃止			→ 休学、留年に相当する間を貸与始期にすることはできません。詳しい条件は「奨学金案内」
○ (15) 本人の収入減少及び	び支出増大に伴う経済困難 🚤		8ページを参照してください。
2. 家計急変の事由が生じた年	月を記入してください。		
	2. 西暦(半角数字)	4桁) 年 月	
D 取名标用 (第二插) 超尚令	を申込む人のみ、希望する貸与始期を		│ │ │
2. 条心休用(另一悝)哭于亚			記入してください。
	3. 西暦(半角数字4	4 桁) 年月	
1. 家計基準該当事由を選択し	てください。 🔻		4. 上記1. (家計急変事由) で ① ~ ⑷ 、 ⑺ ~ ⑼ を選択した人は(1
○ (1) 今後1年間の所得金額	額が収入基準額以下になるため。)を選択しA 欄を記入してください。
○ (2) 年間の支出金額が著	しく増大又は収入金額が著しく減少し7	たため。	り ~ ⑥ 、 10) ~ (13) 、 (15) を選択した.
(この場合下記A・BM	闌を記入してください。)		は②を選択し、A・B欄を記入してください。
○ (3) その他上記以外の家	計急変により就学継続が困難のため。		(14) を選択した人は (3) を選択しB欄を
			記入してください。
		\ ₀	
A. 事由発生以前の1年間の所作 1)生計維持者① a	尋 額 ◆		て、収入証明に基づいて入力してください (必須)。父母のうち主として生計を維持し いる人を1)に入力してください。2)にに
1)生計維持者① a	导額		て、収入証明に基づいて入力してください (必須)。父母のうち主として生計を維持し いる人を1)に入力してください。2)に 、1)で入力した人でない方を、必ず入力
1) 生計維持者① a b) 続柄 b)		a) ▼	て、収入証明に基づいて入力してください (必須)。父母のうち主として生計を維持し いる人を①に入力してください。②には 、1)で入力した人でない方を、必ず入力 してください。収入「0」の場合は、b)約 与収入等「0」万円と入力してください。
 生計維持者① a 続柄 b) 給与収入等の場合 	b) 47	a) ▼ ス入金額合計 万円	て、収入証明に基づいて入力してください (必須)。父母のうち主として生計を維持しいる人を10に入力してください。20にい、1)で入力した人でない方を、必ず入力してください。収入「0」の場合は、b)紛与収入等「0」万円と入力してください。※一人親の場合は2)の入力は不要です。
1) 生計維持者① a b) 続柄 b)	b)収 経営の場合 c)収入・売	a) ▼	て、収入証明に基づいて入力してください (必須)。父母のうち主として生計を維持しいる人を1)に入力してください。2)に 、1)で入力した人でない方を、必ず入力してください。収入「0」の場合は、b) 与収入等「0」万円と入力してください。 ※一人親の場合は2)の入力は不要です。 ※ 父母ともにいない場合で代わつて生計を終 持している人(祖父母•おじおば等)がし
 生計維持者① a 続柄 b) 給与収入等の場合 	b)収 経営の場合 c)収入・売	a) ▼ ス入金額合計 万円	て、収入証明に基づいて入力してください (必須)。父母のうち主として生計を維持しいる人を①に入力してください。②にい、①で入力した人でない方を、必ず入力してください。収入「〇」の場合は、り》を収入等「〇」万円と入力してください。※一人親の場合は2)の入力は不要です。 ※父母ともにいない場合で代わって生計を終持している人(祖父母●おじおば等)がいるときは、そのうち主に生計を維持していると
 生計維持者① a 統柄 b) 給与収入等の場合 	b)収 経営の場合 c)収入・売	a) ▼	て、収入証明に基づいて入力してください (必須)。父母のうち主として生計を維持しいる人を1)に入力してください。2)に、1)で入力した人でない方を、必ず入力してください。収入「0」の場合は、b)が与収入等「0」万円と入力してください。 ※一人親の場合は2)の入力は不要です。 ※父母ともにいない場合で代わって生計を終持している人(祖父母やおじおば等)がいるときは、そのうち主に生計を維持している人のみを1)として入力してください。2)の入力は不要です。生計維持者につい
 生計維持者① a 続柄 b) 給与収入等の場合 c)商店・農業工業、個人組 	b)収 経営の場合 c)収入・売	a) ▼	て、収入証明に基づいて入力してください (必須)。父母のうち主として生計を維持しいる人を1)に入力してください。2)に 、1)で入力した人でない方を、必ず入力してください。収入「0」の場合は、b)系 与収入等「0」万円と入力してください。 ※一人親の場合は2)の入力は不要です。 ※父母ともにいない場合で代わって生計を終 持している人(祖父母・おじおば等)がいるときは、そのうち主に生計を維持している人のみを1)として入力してください 2)の入力は不要です。生計維持者については必ず「奨学金案内」12~13ページを
 生計維持者① a 統柄 b) 給与収入等の場合 c)商店・農業工業、個人組 2) 生計維持者② 	b)収 経営の場合 c)収入・売 所	a) □ ▼ 万円	て、収入証明に基づいて入力してください (必須)。父母のうち主として生計を維持しいる人を1)に入力してください。2)に、1)で入力した人でない方を、必ず入力してください。収入「0」の場合は、b)が与収入等「0」万円と入力してください。 ※一人親の場合は2)の入力は不要です。 ※父母ともにいない場合で代わって生計を終持している人(祖父母やおじおば等)がいるときは、そのうち主に生計を維持している人のみを1)として入力してください。2)の入力は不要です。生計維持者につい
1) 生計維持者① a) 統柄 b) 給与収入等の場合 c) 商店・農業工業、個人紀 2) 牛計維持者② a) 続柄 b	b)収 経営の場合 c)収入・売 別 b)収	a) □ ▼ Z入金額合計 万円 5上金額合計 万円 「得金額合計 万円 「A) ▼ Z入金額合計 万円	て、収入証明に基づいて入力してください (必須)。父母のうち主として生計を維持しいる人を1)に入力してください。2)に 、1)で入力した人でない方を、必ず入力してください。収入「0」の場合は、b)系 与収入等「0」万円と入力してください。 ※一人親の場合は2)の入力は不要です。 ※父母ともにいない場合で代わって生計を終 持している人(祖父母・おじおば等)がいるときは、そのうち主に生計を維持している人のみを1)として入力してください 2)の入力は不要です。生計維持者については必ず「奨学金案内」12~13ページを
 生計維持者① a 統柄 b) 給与収入等の場合 c)商店・農業工業、個人組 生計維持者② a)統柄 b)給与収入等の場合 	b)収 を営の場合 c)収入・売 所 b)収 を営の場合 c)収入・売	a) ▼ Z入金額合計 万円 5上金額合計 万円 7件金額合計 万円 a) ▼ Z入金額合計 万円 5上金額合計 万円	て、収入証明に基づいて入力してください (必須)。父母のうち主として生計を維持しいる人を1)に入力してください。2)には、1)で入力した人でない方を、必ず入力してください。収入「0」の場合は、b)が 与収入等「0」万円と入力してください。 ※一人親の場合は2)の入力は不要です。 ※父母ともにいない場合で代わって生計を終持している人(祖父母・おじおば等)がいるときは、そのうち主に生計を維持している人のみを1)として入力してください。 2)の入力は不要です。生計維持者につしては必ず「奨学金案内」12~13ページを確認してください。
1) 生計維持者① a) 続柄 b) 給与収入等の場合 c) 商店・農業工業、個人紀 2) 生計維持者② a) 続柄 b) 給与収入等の場合 c) 商店・農業工業、個人紀	b)収 を営の場合 c)収入・売 所 b)収 経営の場合 c)収入・売	a) ▼	て、収入証明に基づいて入力してください (必須)。父母のうち主として生計を維持しいる人を10に入力してください。20に 、1)で入力した人でない方を、必ず入力してください。収入「0」の場合は、b)が 与収入等「0」万円と入力してください。 ※一人親の場合は2)の入力は不要です。 ※父母ともにいない場合で代わって生計を維持している人(祖父母・おじおば等)がしるときは、そのうち主に生計を維持している人のみを1)として入力してください 2)の入力は不要です。生計維持者につしては必ず「奨学金案内」12~13ページを確認してください。
1) 生計維持者① a) 続柄 b) 給与収入等の場合 c) 商店・農業工業、個人紀 2) 生計維持者② a) 続柄 b) 給与収入等の場合 c) 商店・農業工業、個人紀 2 (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4)	b)収 を営の場合 c)収入・売 所 b)収 経営の場合 c)収入・売 所 額、またこれから特別に支出が見込ま;	a) ▼	て、収入証明に基づいて入力してください (必須)。父母のうち主として生計を維持しいる人を1)に入力してください。2)には、1)で入力した人でない方を、必ず入力してください。W入「0]の場合は、b)紛与収入等「0]万円と入力してください。※一人親の場合は2)の入力は不要です。 ※父母ともにいない場合で代わつて生計を維持している人(祖父母・おじおば等)がいるときは、そのうち主に生計を維持している人のみを1)として入力してください。2)の入力は不要です。生計維持者については必ず「奨学金案内」12~13ページを確認してください。 家計急変後の収入(年収見込)は ⑨ーあなたの家族情報に入力してください。
1) 生計維持者① a) 続柄 b) 給与収入等の場合 c) 商店・農業工業、個人系 2) 生計維持者② a) 続柄 b) 給与収入等の場合 c) 商店・農業工業、個人系 3. これまでに特別に支出した。	b)収 を営の場合 c)収入・売 所 b)収 経営の場合 c)収入・売 所 額、またこれから特別に支出が見込ま;	a) ズ入金額合計 万円 5上金額合計 万円 万円 3) ズス金額合計 万円 5上金額合計 5円 5円 5円 5円 5円 5円 5円 5円	て、収入証明に基づいて入力してください (必須)。父母のうち主として生計を維持しいる人を10に入力してください。20に 、1)で入力した人でない方を、必ず入力 してください。収入「0」の場合は、b)が 与収入等「0」万円と入力してください。 ※一人親の場合は2)の入力は不要です。 ※父母ともにいない場合で代わって生計を維持している人(祖父母・おじおば等)がいるときは、そのうち主に生計を維持している人のみを1)として入力してください。 2)の入力は不要です。生計維持者については必ず「奨学金案内」12~13ページを確認してください。 家計急変後の収入(年収見込)は ⑨ーあなたの家族情報に入力してください。
1) 生計維持者① a) 続柄 b) 給与収入等の場合 c) 商店・農業工業、個人系 2) 生計維持者② a) 続柄 b) 給与収入等の場合 c) 商店・農業工業、個人系 3. これまでに特別に支出した。	b)収 を営の場合 c)収入・売 所 b)収 経営の場合 c)収入・売 所 額、またこれから特別に支出が見込まえ 医療費等)	a) ズ入金額合計 万円 5上金額合計 万円 万円 3) ズ入金額合計 万円 5上金額合計 万円 5上金額合計 万円 万円 5上金額合計 万円 万円 5上金額合計 5円 5日 5日 5日 5日 5日 5日 5日 5日	て、収入証明に基づいて入力してください (必須)。父母のうち主として生計を維持しいる人を10に入力してください。20には、1)で入力した人でない方を、必ず入力してください。収入「0」の場合は、b)が与収入等「0」万円と入力してください。※一人親の場合は2)の入力は不要です。 ※父母ともにいない場合で代わって生計を維持している人(祖父母・おじおば等)がいるときは、そのうち主に生計を維持している人のみを1)として入力してください。2)の入力は不要です。生計維持者につしては必ず「奨学金案内」12~13ページを確認してください。 家計急変後の収入(年収見込)は ⑨ーあなたの家族情報に入力してください。
1) 生計維持者① a) 続柄 b) 給与収入等の場合 c) 商店・農業工業、個人系 2) 生計維持者② a) 続柄 b) 給与収入等の場合 c) 商店・農業工業、個人系 3. これまでに特別に支出した。	b)収 を営の場合 c)収入・売 所 b)収 経営の場合 c)収入・売 所 額、またこれから特別に支出が見込まえ 医療費等)	a) ズ入金額合計 万円 5上金額合計 万円 万円 3) ズス金額合計 万円 5上金額合計 5円 5円 5円 5円 5円 5円 5円 5円	て、収入証明に基づいて入力してください (必須)。父母のうち主として生計を維持しいる人を1)に入力してください。2)には、1)で入力した人でない方を、必ず入力してください。収入「0」の場合は、b) 総与収入等「0」万円と入力してください。※一人親の場合は2)の入力は不要です。 ※父母ともにいない場合で代わって生計を維持している人(祖父母・おじおば等)がいるときは、そのうち主に生計を維持している人のみを1)として入力してください。2)の入力は不要です。生計維持者につしては必ず「奨学金案内」12~13ページを確認してください。 家計急変後の収入(年収見込)は ⑨ーあなたの家族情報に入力してください。
1) 生計維持者① a) 続柄 b) 給与収入等の場合 c) 商店・農業工業、個人統 2) 生計維持者② a) 続柄 b) 給与収入等の場合 c) 商店・農業工業、個人統 3. これまでに特別に支出した。	b) 収 を営の場合 c) 収入・売 所 b) 収 を営の場合 c) 収入・売 所 額、またこれから特別に支出が見込まえ 医療費等)	a) ズ入金額合計 万円 万円 万円 万円 万円 万円 京日金額合計 万円 万円 万円 万円 万円 の の の の の の の の の の	て、収入証明に基づいて入力してください (必須)。父母のうち主として生計を維持しいる人を1)に入力してください。2)には、1)で入力した人でない方を、必ず入力してください。収入「0」の場合は、b)がら収入等「0」万円と入力してください。※一人親の場合は2)の入力は不要です。 ※父母ともにいない場合で代わって生計を維持している人(祖父母・おじおば等)がいるときは、そのうち主に生計を維持している人のみを1)として入力してください。2)の入力は不要です。生計維持者につしては必ず「奨学金案内」12~13ページを確認してください。 家計急変後の収入(年収見込)は ⑨ーあなたの家族情報に入力してください。
1) 生計維持者① a) 続柄 b) 給与収入等の場合 c) 商店・農業工業、個人系 2) 生計維持者② a) 続柄 b) 給与収入等の場合 c) 商店・農業工業、個人系 3. これまでに特別に支出した。	b) 収 を営の場合 c) 収入・売 所 b) 収 を営の場合 c) 収入・売 所 額、またこれから特別に支出が見込まえ 医療費等)	a) マスス金額合計 万円 万円 万円 万円 万円 3.1 マスス金額合計 万円 万円 本額合計 万円 万円 5.1 金額合計 万円 1.6 全額合計 万円 れる額を記入してくだ 事由 金額 はによる家屋の損壊) 万円	て、収入証明に基づいて入力してください (必須)。父母のうち主として生計を維持しいる人をかに入力してください。 カには、1)で入力した人でない方を、必ず入力してください。収入「0」の場合は、b) 8 与収入等「0」万円と入力してください。※一人親の場合は2)の入力は不要です。 ※父母ともにいない場合で代わつて生計を維持している人(祖父母・おじおば等)がいるときは、そのうち主に生計を維持している人のみを1)として入力してください。 家計急変後の収入(年収見込)は ⑨ーあなたの家族情報に入力してください。 家計急変後の収入(年収見込)は ⑨ーあなたの家族情報に入力してください。 8. 病気・事故・火災・風水害・震災により、生命・損害保険等を受けてもなお、支出が書く増大した等を事由とする場合、証明書に基いて、支出事由を明らかにしたうえで、これでの費用とこれからの支出見込額を入力して
1) 生計維持者① a) 続柄 b) 給与収入等の場合 c) 商店・農業工業、個人系 2) 生計維持者② a) 続柄 b) 給与収入等の場合 c) 商店・農業工業、個人系 3. これまでに特別に支出した。	b) 収 を営の場合 c) 収入・売 が を営の場合 c) 収入・売 が額、またこれから特別に支出が見込まを 医療費等) (例:台属 これまでに 全角10	a) マスス金額合計 万円 万円 万円 万円 万円 不得金額合計 万円 万円 下円 下円 下円 万円 万円 下月金額合計 万円 下月金額合計 万円 れる額を記入してくだ 事由 金額 はによる家屋の損壊) アラーマ字以内	て、収入証明に基づいて入力してください (必須)。父母のうち主として生計を維持しいる人をりに入力してください。のには、1)で入力した人でない方を、必ず入力してください。収入「0」の場合は、り)を収入等「0」万円と入力してください。※一人親の場合は2)の入力は不要です。 ※父母ともにいない場合で代わって生計を維持している人(祖父母・おじおば等)がいるときは、そのうち主に生計を維持している人のみを1)として入力してください。2)の入力は不要です。生計維持者につしては必ず「奨学金案内」12~13ページを確認してください。 家計急変後の収入(年収見込)は、⑨ーあなたの家族情報に入力してください。
1) 生計維持者① a) 続柄 b) 給与収入等の場合 c) 商店・農業工業、個人紀 2) 生計維持者② a) 続柄 b) 給与収入等の場合 c) 商店・農業工業、個人紀 3. これまでに特別に支出した。 さい。 (家屋・家財復旧費、	b) 収 を営の場合 c) 収入・売 所 b) 収 b) 収 c) 収入・売 所 額、またこれから特別に支出が見込まを 医療費等) (例:台屋 これまでに 全角10 これから	a) マスス金額合計 万円 万円 万円 万円 万円 3上金額合計 万円 万円 万円 万円 万円 万円 万円 万円 14金額合計 万円 15上金額合計 万円 15上金額合計 万円 164金額合計 万円 164金額を記入してくだ 事由 金額 いによる家屋の損壊) 万円 7万円 万円	て、収入証明に基づいて入力してください (必須)。父母のうち主として生計を維持しいる人をかに入力してください。 カには、1)で入力した人でない方を、必ず入力してください。収入「0」の場合は、b) 8 与収入等「0」万円と入力してください。※一人親の場合は2)の入力は不要です。 ※父母ともにいない場合で代わつて生計を維持している人(祖父母・おじおば等)がいるときは、そのうち主に生計を維持している人のみを1)として入力してください。 家計急変後の収入(年収見込)は ⑨ーあなたの家族情報に入力してください。 家計急変後の収入(年収見込)は ⑨ーあなたの家族情報に入力してください。 8. 病気・事故・火災・風水害・震災により、生命・損害保険等を受けてもなお、支出が書く増大した等を事由とする場合、証明書に基いて、支出事由を明らかにしたうえで、これでの費用とこれからの支出見込額を入力して
1) 生計維持者① a) 続柄 b) 給与収入等の場合 c) 商店・農業工業、個人結 2) 生計維持者② a) 続柄 b) 給与収入等の場合 c) 商店・農業工業、個人結 3. これまでに特別に支出した。 さい。 (家屋・家財復旧費、	b) 収 を営の場合 c) 収入・売 所 b) 収 b) 収 c) 収入・売 所 額、またこれから特別に支出が見込まを 医療費等) (例:台屋 これまでに 全角10 これから	a) ▼ ス入金額合計 万円 5上金額合計 万円 7月 金額合計 万円 7月 万円 7月 金額を記入してくだ 事由 金額 1による家屋の損壊) 7万円 7万円 7万円 7万円 7万円 7万円 7万円 7万	て、収入証明に基づいて入力してください (必須)。父母のうち主として生計を維持しいる人をかに入力してください。 カには、1)で入力した人でない方を、必ず入力してください。収入「0」の場合は、b) 8 与収入等「0」万円と入力してください。※一人親の場合は2)の入力は不要です。 ※父母ともにいない場合で代わつて生計を維持している人(祖父母・おじおば等)がいるときは、そのうち主に生計を維持している人のみを1)として入力してください。 家計急変後の収入(年収見込)は ⑨ーあなたの家族情報に入力してください。 家計急変後の収入(年収見込)は ⑨ーあなたの家族情報に入力してください。 8. 病気・事故・火災・風水害・震災により、生命・損害保険等を受けてもなお、支出が書く増大した等を事由とする場合、証明書に基いて、支出事由を明らかにしたうえで、これでの費用とこれからの支出見込額を入力して
1) 生計維持者① a) 続柄 b) 給与収入等の場合 c) 商店・農業工業、個人結 2) 生計維持者② a) 続柄 b) 給与収入等の場合 c) 商店・農業工業、個人結 3. これまでに特別に支出した。 (家屋・家財復旧費、入力項目	b) 収 を営の場合 c) 収入・売 所 b) 収 b) 収 c) 収入・売 所 額、またこれから特別に支出が見込ま。 医療費等) (例:台屋 これまでに 全角10 これから	a) ▼ ス入金額合計 万円 5上金額合計 万円 7年金額合計 万円 7年金額合計 万円 7日 7日 7日 7日 7日 7日 7日 7日 7日 7	て、収入証明に基づいて入力してください (必須)。父母のうち主として生計を維持しいる人を1)に入力してください。2)には、1)で入力した人でない方を、必ず入力してください。収入「0]の場合は、b)がも収入等「0]万円と入力してください。※一人親の場合は2)の入力は不要です。 ※父母ともにいない場合で代わって生計を維持している人(祖父母・おじおば等)がいるときは、そのうち主に生計を維持している人のみを1)として入力してください。 家計急変後の収入(年収見込)は ⑨-あなたの家族情報に入力してください。 家計急変後の収入(年収見込)は ⑨-あなたの家族情報に入力してください。 8. 病気・事故・火災・風水害・震災により、生命・損害保険等を受けてもなお、支出が著く増大した等を事由とする場合、証明書に基いて、支出事由を明らかにしたうえで、これでの費用とこれからの支出見込額を入力して
) 続柄 b) 給与収入等の場合 c) 商店・農業工業、個人組 2) 生計維持者② a) 続柄 b) 給与収入等の場合 c) 商店・農業工業、個人組 B. これまでに特別に支出したさい。(家屋・家財復旧費、 例えば、家計急変が2023年5月、 	b) 収 を営の場合 c) 収入・売 所 b) 収 b) 収 c) 収入・売 所 額、またこれから特別に支出が見込まを 医療費等) (例:台屋 これまでに 全角10 これから	a) ▼ ス入金額合計 万円 5上金額合計 万円 7月 金額合計 万円 7月 万円 7月 金額を記入してくだ 事由 金額 1による家屋の損壊) 7万円 7万円 7万円 7万円 7万円 7万円 7万円 7万	※一人親の場合は2)の入力は不要です。 ※父母ともにいない場合で代わって生計を終 持している人(祖父母・おじおば等)がし るときは、そのうち主に生計を維持してし る人のみを1)として入力してください 2)の入力は不要です。生計維持者につい ては必ず「奨学金案内」12~13ページを確認してください。 家計急変後の収入(年収見込)は ⑨ーあなたの家族情報に入力してください。 B. 病気・事故・火災・風水害・震災により、生命・損害保険等を受けてもなお、支出が著く増大した等を事由とする場合、証明書に基いて、支出事由を明らかにしたうえで、これでの費用とこれからの支出見込額を入力して
1) 生計維持者① a) 続柄 b) 続柄 b) 総与収入等の場合 c) 商店・農業工業、個人紀 2) 生計維持者② a) 続柄 b) 給与収入等の場合 c) 商店・農業工業、個人紀 B. これまでに特別に支出した。	b) 収入・売 所 b) 収入・売 所 b) 収入・売 所 b) 収入・売 所 a c) 収入・売 所 額、またこれから特別に支出が見込まを 医療費等) (例:台屋 これまでに 全角10 これから 即当期間 家計急変時~申込時点までにすでに支出	a) ▼ ス入金額合計 万円 5上金額合計 万円 7年金額合計 万円 7年金額合計 万円 7日 7日 7日 7日 7日 7日 7日 7日 7日 7	て、収入証明に基づいて入力してください (必須)。父母のうち主として生計を維持しいる人を1)に入力してください。2)には、1)で入力した人でない方を、必ず入力してください。収入「0]の場合は、b)終与収入等「0]万円と入力してください。※一人親の場合は2)の入力は不要です。 ※父母ともにいない場合で代わって生計を維持している人(祖父母・おじおば等)がいるときは、そのうち主に生計を維持している人のみを1)として入力してください。 家計急変後の収入(年収見込)は ⑨-あなたの家族情報に入力してください。 あたの家族情報に入力してください。 B. 病気・事故・火災・風水害・震災により、生命・損害保険等を受けてもなお、支出が著く増大した等を事由とする場合、証明書に基いて、支出事由を明らかにしたうえで、これでの費用とこれからの支出見込額を入力して